

# 平成16年度業務実績報告書

(資料編)

独立行政法人国立大学財務・経営センター

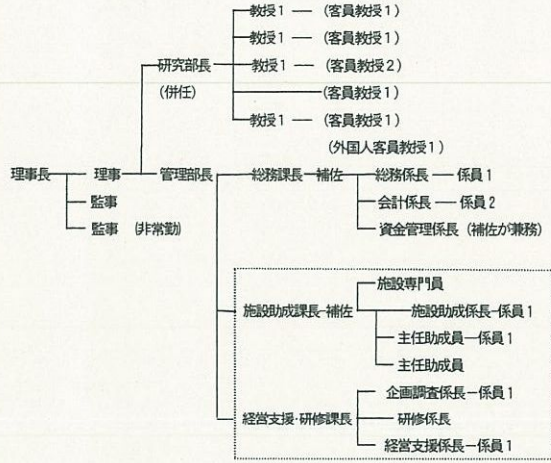
## 目 次

資料 1	○独立行政法人国立大学財務・経営センター事務組織の変遷図	1
資料 2	1. 運営評議会委員	2
	2. 研究活動委員会委員	2
資料 3	○平成 16 年度決算の概要	3
資料 4	1. 弁護士による法律相談（平成 6 年度以降の法律相談の主な例）	4
	2. 過去の財産管理等研究会における主なテーマ	4
資料 5	1. 特定学校財産の処分の実績一覧表	5
	2. 財産処分に係るノウハウの蓄積例	5
資料 6	1. 平成 16 年度施設費貸付事業の実績	6
	2. 施設費貸付の審査基準等	7
	3. 施設費貸付事業償還計画	9
資料 7	1. 平成 16 年度施設費交付事業の実績	10
	2. 施設費交付事業関係規程等	10
資料 8	1. 高等教育財政・財務研究会	11
	2. シンポジウム	11
	3. 講演会	12
	4. 研究紀要の刊行	12
	5. その他刊行物・研究報告等	12
資料 9	1. 大学トップマネジメントセミナー	17
	（1）大学トップマネジメントセミナー	17
	（2）国立大学病院経営セミナー	19
	2. 大学財務・経営セミナー	22
	3. 大学職員マネジメント研修	25
資料10	1. 英国における大学経営の指針（続）	28
	2. 国立大学法人経営ハンドブック	28
	3. 国立大学法人の財務概要（仮称）企画委員会委員	29
	4. 国立大学法人財務・経営データベース検討委員会委員	29
	5. 国立大学法人等財務管理等に関する協議会の概要	29
資料11	1. 国立大学法人等の経営改善方策に係る事例募集・紹介窓口	30
	2. 国立大学法人等に対する経営相談窓口	30
資料12	1. 平成 16 年度大学共同利用施設稼働状況	31
	2. 大学共同利用施設のアンケート結果の概要	31
	3. ホームページ上での大学共同利用施設の予約画面の概要	33
	4. キャンパス・イノベーションセンター等利用案内パンフレット	34
資料13	○旧特定学校財産の評価額等	35
資料14	○承継債務償還計画	42

資料 1

○独立行政法人 国立大学財務・経営センター事務組織の変遷図

平成 16 年 4 月 1 日



区分	役員	研究部	管理部	計
役職員数	3 (1)	4	22	29 人

注：( ) 書は非常勤で外数

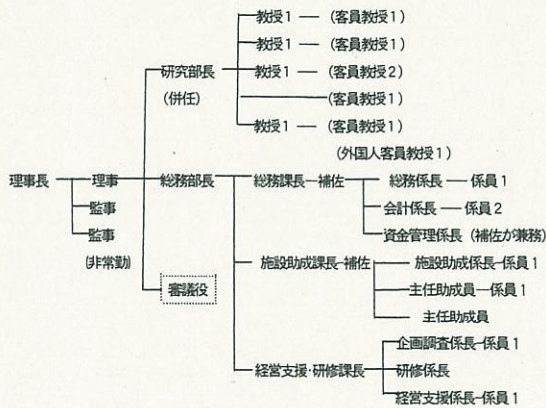
平成 16 年 6 月 1 日



区分	役員	研究部	管理部	計
役職員数	3 (1)	4	22	29 人

注：( ) 書は非常勤で外数

平成 17 年 3 月 15 日



区分	役員	研究部	総務部	計
役職員数	3 (1)	4	22	29 人

注：( ) 書は非常勤で外数

(参考) 平成 15 年 4 月 1 日 国立学校財務センター



区分	所長	研究部	管理部	計
定員	1	4	16	21 人

## 資料2

### 1. 運営評議会委員 (五十音順 敬称略)

相澤益男	東京工業大学長
石弘光	一橋大学長 (平成16年11月30日まで)
尾池和夫	京都大学長
梶山千里	九州大学長
木村孟	大学評価・学位授与機構長
小村武	日本政策投資銀行総裁
相良祐輔	高知大学長
佐々木毅	東京大学長
末松安晴	国立情報学研究所長
杉山武彦	一橋大学長 (平成16年12月1日より)
内藤喜之	国立高等専門学校機構理事長
中村睦男	北海道大学長
林勇二郎	金沢大学長
平野真一	名古屋大学長
松尾稔	(社) 国立大学協会専務理事
宮原秀夫	大阪大学長
牟田泰三	広島大学長
吉田茂	(社) 日本音楽著作権協会理事長
吉本高志	東北大学長

### 2. 研究活動委員会委員 (五十音順 敬称略)

天野郁夫	国立大学財務・経営センター研究部長
有本章	広島大学高等教育研究開発センター長
磯田文雄	筑波大学理事 (副学長)
井上芳郎	北海道大学理事 (副学長)
金子元久	東京大学大学院教育学研究科教授
川口昭彦	大学評価・学位授与機構評価研究部長
川村正幸	一橋大学理事 (副学長)
北見耕一	大阪大学理事・事務局長 (平成17年3月10日より)
木村嘉孝	高エネルギー加速器研究機構監事
桐野高明	東京大学理事 (副学長)
坂内正夫	国立情報学研究所副所長
佐々木順司	東京工業大学事務局長 (平成16年12月31日まで)
佐藤誠二	静岡大学理事 (副学長)
高田敏文	東北大学理事
中野仁雄	九州大学理事 (副学長)
西本清一	京都大学大学院工学研究科教授
松本浩之	東京工業高等専門学校長
丸山文裕	国立大学財務・経営センター研究部教授
山本清	国立大学財務・経営センター研究部教授

資料3

○平成16年度決算の概要

(単位:円)

区 分	予算額	改訂後予算額	決算額	差 額
【収入】				
運営費交付金	562,617,000	562,617,000	562,617,000	0
産学協力事業収入	391,608,000	391,608,000	203,038,598	△ 188,569,402
雑収入(宿舍収入等)	1,929,000	1,929,000	6,219,802	4,290,802
計	956,154,000	956,154,000	771,875,400	△ 184,278,600
【支出】				
センター事業費	316,326,000	316,326,000	290,499,335	25,826,665
人件費	174,297,000	174,297,000	171,688,592	2,608,408 ※1
物件費	142,029,000	142,029,000	118,810,743	23,218,257
客員教員経費	5,649,000	6,095,192	6,095,192	0
学校財産有効活用・管理・処分経費	50,437,000	51,403,017	51,403,017	0
財産管理・処分・有効活用に関する協力・助言経費	2,318,000	4,053,221	4,053,221	0
旧特定学校財産の管理処分経費	48,119,000	47,349,796	47,349,796	0
施設費貸付事業経費	5,787,000	4,820,983	4,200,050	620,933
債務償還事務経費	641,000	641,000	189,576	451,424
国立大学法人等マネジメント支援経費	44,199,000	53,752,808	37,464,353	16,288,455
財務・経営に関する調査・研究経費	28,819,000	26,942,652	24,255,188	2,687,464 ※2
財務・経営の改善に関する情報提供経費	10,284,000	25,315,147	11,714,156	13,600,991 ※3
(うち国立大学法人財務・経営情報提供システムに関する経費)	(0)	(10,000,000)	(0)	(10,000,000)
財務・経営の改善に関する協力・助言経費	5,096,000	1,495,009	1,495,009	0
財務・経営の改善セミナー・研修経費	34,305,000	24,305,000	19,041,195	5,263,805
寄附金受入等経費	1,011,000	1,011,000	417,360	593,640
一般管理費	248,220,000	248,220,000	233,633,682	14,586,318
人件費	109,148,000	109,148,000	103,309,391	5,838,609 ※1
物件費	134,214,000	134,214,000	130,324,291	3,889,709
退職手当	4,858,000	4,858,000	0	4,858,000
産学協力事業費	391,608,000	391,608,000	192,159,395	199,448,605
その他の支出	0	0	2,671,915	△ 2,671,915
計	956,154,000	956,154,000	718,964,327	237,189,673

注1: 本文5ページの一般管理費の算出方法中、予算額及び決算額は次のように算出した。

・予算額 243,362,000円(一般管理費予算額 248,220,000円－退職手当 4,858,000円)－宿舍収入予算額 1,929,000円＝241,433,000円

・決算額 233,633,682円－宿舍収入決算額見合の支出 2,347,556円＝231,286,126円

※1: 差額(事業費2,608,408円、一般管理費5,838,609円)については、組織改革に伴う翌年度以降の人件費(調査役→審議役の給与差額1,120万円(年間約280万円×4年間))に充当

※2: 差額(2,687,464円)については、翌年度に残りの大学の訪問調査に係る経費に充当

※3: 差額(13,600,991円)については、国立大学法人財務・経営情報提供システムの構築に係る経費(10,000,000円)及び国立大学法人経営ハンドブック第2集の刊行等の経費(3,600,991円)に充当

## 資料 4

### 1. 弁護士による法律相談（平成6年度以降の法律相談の主な例）

事 項	相 談 例
処分関係	<input type="checkbox"/> 不動産の売買契約書の書式について <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財が発見された場合の瑕疵担保責任について <input type="checkbox"/> 土壌汚染の瑕疵担保責任について <input type="checkbox"/> 土壌汚染対策工事に係る経費負担について
維持管理関係	<input type="checkbox"/> 土地境界の紛争等について <input type="checkbox"/> 不法占拠者への対応について <input type="checkbox"/> 不法占拠に係る時効中断について <input type="checkbox"/> 違法駐車車両の取扱について <input type="checkbox"/> 地上権の設定契約について・同解除について <input type="checkbox"/> 所有地に鉱業権設定の出願がされたことに係る対応について <input type="checkbox"/> 建物を建築するに当たっての位置指定道路について <input type="checkbox"/> 囲繞地通行権について <input type="checkbox"/> 建築物による電波障害の補償について
その他（契約関係）	<input type="checkbox"/> 不動産の賃貸借契約書の書式について <input type="checkbox"/> 賃貸借契約書の名義変更について

### 2. 過去の財産管理等研究会における主なテーマ

- 不動産の鑑定評価について
- 民間における施設管理のあり方について
- 不動産の登記について



## 資料 6

### 1. 平成16年度施設費貸付事業の実績

(単位：千円)

	文科省計画額	貸付額	翌年度繰越額	借入不要額
北海道大学	254,000	253,890		110
旭川医科大学	2,792,475	1,249,932	1,527,612	14,931
弘前大学	367,038	366,660		378
	280,000	279,825		175
東北大学	6,803,811	3,721,995	3,081,060	756
	613,000	602,721		10,279
秋田大学	360,000	359,940		60
山形大学	433,000	415,905		17,095
群馬大学	1,725,646	1,103,759	621,886	1
千葉大学	498,960	498,960		0
東京大学	4,735,395	4,731,630		3,765
	494,000	457,893		36,107
新潟大学	3,910,410	3,872,659		37,751
	499,000	494,025		4,975
富山医科薬科大学	245,700	245,700		0
	481,000	479,850		1,150
金沢大学	2,835,378	2,736,153		99,225
	187,000	184,800		2,200
福井大学	91,665	89,775		1,890
	400,000	399,300		700
山梨大学	424,000	420,787		3,213
信州大学	794,000	789,495		4,505
岐阜大学	118,125	118,125		0
名古屋大学	5,902,470	5,892,831		9,639
三重大学	445,000	425,250		19,750
滋賀医科大学	266,000	264,676		1,324
京都大学	168,000	165,900		2,100
大阪大学	488,000	486,150		1,850
神戸大学	919,000	918,540		460
鳥取大学	224,910	224,248		662
	98,000	97,440		560
島根大学	265,545	265,545		0
	296,000	295,050		950
岡山大学	407,484	407,484		0
	362,000	359,100		2,900
広島大学	240,000	238,875		1,125
山口大学	481,950	481,950		0
徳島大学	2,520,000	2,467,384		52,616
香川大学	260,820	260,820		0
	104,000	103,950		50
愛媛大学	1,248,345	624,986	601,699	21,660
	1,065,000	923,013	137,214	4,773
高知大学	98,280	98,280		0
九州大学	7,723,638	7,693,664		29,974
	1,384,000	1,379,490		4,510
佐賀大学	444,000	441,000		3,000
長崎大学	1,148,175	1,135,417		12,758
熊本大学	2,560,950	1,578,096	973,728	9,126
	1,544,000	1,536,255		7,745
大分大学	535,000	534,996		4
宮崎大学	234,000	219,450		14,550
鹿児島大学	421,470	421,470		0
	369,000	369,000		0
琉球大学	224,910	219,986		4,924
施設計	45,093,550	38,040,125	6,805,985	247,440
設備計	16,700,000	16,363,950	137,214	198,836
合計	61,793,550	54,404,075	6,943,199	446,276

不要額=61,800,000(当初予定額)-61,793,550+446,276=452,726

：施設整備

：設備整備



## 2. 施設費貸付の審査基準等

### 独立行政法人国立大学財務・経営センター施設費貸付事業審査基準（抄）

平成16年 8月 2日

独立行政法人国立大学財務・経営センター理事長決定

施設費貸付事業の実施にあたり、国立大学法人等に対する貸付審査に必要な事項は、次によるものとする。

- 第1 国立大学法人等から徴求するキャッシュ・フロー計算書及び貸借対照表により、原則として、借入金及び債券発行残高が診療収入の100分の400以内であり、借入金等残高の割合が過大でないかを検証する。
- 第2 国立大学法人等から徴求するキャッシュ・フロー計算書により、原則として、借入金等元利償還額が、事業年度における診療収入の100分の30以内であり、予定する長期借入金等の調達実施により、後年度の診療収入に占める借入金等元利償還額の割合が過大とならないかを検証する。なお検証にあたっては、貸付を予定する国立大学法人等のこれ迄の施設整備の進捗状況、並びに当該貸付事業の実施を含めた今後の整備計画を勘案して行うものとする。
- 第6 施設費貸付事業の実施にあたり、確実に貸付金債権を担保することのできる不動産を有していることを検証する。

### 独立行政法人国立大学財務・経営センター施設費貸付規程（抄）

平成16年 8月 2日

独立行政法人国立大学財務・経営センター理事長決定

#### 第3章 借入申込みの受理及び申込内容の審査

（借入申込み）

第10条 当該事業年度に借入れをしようとする国立大学法人等（以下「申込者」という。）から、次の各号に掲げる事項を記載した借入申請書を提出させるものとする。

- 一 申込者の名称及び所在地
  - 二 借入れを希望する金額
  - 三 借入れを希望する時期
  - 四 当該借入れに係る事業（以下「事業」という。）の名称
  - 五 当該借入れに係る資金の用途
  - 六 当該借入れに係る貸付金の送金先預金口座
- 2 前項の申請書には、次の各号に掲げる書類を添付させなければならない。
- 一 事業計画・資金計画書（施設整備計画を含む。）
  - 二 工事、製造若しくは機械購入等契約書の写又はこれに代わる書類
  - 三 支出等に係る請求書類の写
  - 四 担保物件の評価調書の写
  - 五 担保物件を担保として提供する旨の決定書類
  - 六 借入金等債務の償還財源に診療収入を最優先で充てる旨の学長決定書類
  - 七 当該事業年度における長期借入金及び債券の償還計画
  - 八 関係法令に基づく許可書等の書類の写とその申請書類の写
  - 九 抵当権順位変更承諾願の写
  - 十 その他参考となる書類

(申込内容の審査)

第12条 借入申込書類を受理したときは、その貸付けを行うことが適当であるかを速やかに審査するものとする。

2 審査に当たっては、事業の目的及び内容が独立行政法人国立大学財務・経営センター法第13条第2号に基づき文部科学大臣の定めた範囲内であり、かつ、償還能力及び担保力があるかどうか等を調査するものとする。

3 前項の調査の結果、事業の目的及び内容が文部科学大臣の定めた範囲を超える場合又は償還能力がない等貸付けに支障があると予想される場合には、文部科学大臣に報告するものとする。

第4章 資金の貸付け

(貸付けの決定)

第13条 前条の審査の結果、貸付けを行うことを決定したときはその旨、貸付金額、貸付日その他の事項を、貸付けを行わないことを決定したときはその旨を、書面により申込者へ通知する。

(必要書類の徴求)

第14条 貸付けの実行に当たっては、貸付を受ける国立大学法人等(以下「貸付先」という。)から次の各号に掲げる書類を提出させるものとする。

- 一 金銭消費貸借契約証書(別紙様式1)
- 二 法人登記簿謄本及び印鑑証明書
- 三 抵当権設定契約証書(別紙様式2)
- 四 抵当権順位変更合意証書
- 五 その他貸付けの実行に必要な書類

第5章 貸付金の回収

(回収方法)

第20条 金銭消費貸借契約締結後、速やかに元金償還及び利息支払いのためセンターが作成した償還年次表を貸付先へ交付するものとする。

2 償還の確実を期するため、貸付先に払込通知書を発行し、払込期日にセンターの指定する金融機関の預金口座に入金させるものとする。

## 3. 施設費貸付事業償還計画

単位：円

年 度	元 本	利 息	合 計
16	0	85,604,534	85,604,534
17	23,022,000	721,289,897	744,311,897
18	1,818,216,000	724,023,091	2,542,239,091
19	1,818,216,000	705,839,265	2,524,055,265
20	1,818,216,000	687,655,439	2,505,871,439
21	2,387,054,000	669,050,967	3,056,104,967
22	3,720,218,000	635,798,549	4,356,016,549
23	3,720,214,000	589,357,495	4,309,571,495
24	3,720,214,000	542,916,471	4,263,130,471
25	3,720,214,000	496,475,447	4,216,689,447
26	3,697,198,000	324,121,982	4,021,319,982
27	1,901,998,000	—	1,901,998,000
28	1,901,998,000	—	1,901,998,000
29	1,901,998,000	—	1,901,998,000
30	1,901,998,000	—	1,901,998,000
31	1,901,998,000	—	1,901,998,000
32	1,901,998,000	—	1,901,998,000
33	1,901,998,000	—	1,901,998,000
34	1,901,998,000	—	1,901,998,000
35	1,901,998,000	—	1,901,998,000
36	1,901,998,000	—	1,901,998,000
37	1,901,998,000	—	1,901,998,000
38	1,901,998,000	—	1,901,998,000
39	1,901,998,000	—	1,901,998,000
40	1,901,998,000	—	1,901,998,000
41	1,333,321,000	—	1,333,321,000
合 計	54,404,075,000	6,182,133,137	60,586,208,137

※現契約は、10年金利見直しとなっているため平成27年度以降は元本のみ記載

## 資料 7

### 1. 平成16年度施設費交付事業の実績

(単位：千円)

	文科省計画額	交付決定額	支払済額	翌年度繰越額
北海道大学	751,211	751,211	736,721	
名古屋大学	1,205,235	1,205,235	1,162,335	
京都大学	850,697	850,697	331,871	518,826
大阪大学	1,490,904	1,490,904	599,500	891,404
神戸大学	1,004,494	1,004,494	892,226	
東京外国語大学	728,700	728,700	290,864	437,836
九州大学	2,400,000	2,400,000	2,400,000	
合計	8,431,241	8,431,241	6,413,517	1,848,066

### 2. 施設費交付事業関係規程等

—略—

## 資料 8

### 1 高等教育財政・財務研究会

- (1) 第21回 (平成16年5月22日)  
□テーマ:「私立大学から見た国立大学法人—財務と経営—」  
□発表者: 孫福 弘 (横浜市立大学改革推進本部最高経営責任者)  
□コメント: 高井隆雄 (東京海洋大学長) (参加者: 70名)
- (2) 第22回 (平成16年7月17日)  
□テーマ:「私立大学における経営・財政改革」  
□発表者: 井原 徹 (早稲田大学理事)  
□コメント: 磯田文雄 (筑波大学理事・副学長) (参加者: 53名)
- (3) 第23回 (平成16年10月2日)  
□テーマ:「国立大学附属病院の経営とその問題点」  
□発表者: 川淵孝一 (東京医科歯科大学教授)  
□コメント: 豊田長康 (三重大学長) (参加者: 74名)
- (4) 第24回 (平成16年12月4日)  
□テーマ:「私立大学における附属病院経営-慶應義塾大学病院の経営改革を例に」  
□発表者: 江川 寛 (慶應義塾大学病院経営業務担当執行役員)  
□コメント: 坂本 徹 (東京医科歯科大学病院長) (参加者: 81名)
- (5) 第25回 (平成17年1月22日)  
□テーマ:「科学研究費補助金採択件数からみた大学の研究活性度」  
□発表者: 野村浩康 (東京電機大学総合研究所長)  
□コメント: 金子元久 (東京大学大学院教育学研究科教授) (参加者: 58名)

### 2 シンポジウム (平成17年3月26日)

- (1) テーマ:「法人化と国立大学の財政・財務」  
(2) プログラム (講演テーマ等)
- ①「シンポジウムの趣旨等」  
□講演者: 天野郁夫 (センター研究部長)
- ②「法人化前の概算要求」  
□講演者: 天野郁夫 (センター研究部長)  
□コメント: 矢野眞和 (東京大学大学院教育学研究科教授)
- ③「外部資金の獲得」  
□講演者: 両角亜希子 (東京大学大学総合教育研究センター助手)  
□コメント: 小林雅之 (東京大学大学総合教育研究センター助教授)
- ④「学内予算の配分」  
□講演者: 山本 清 (センター研究部教授)  
□コメント: 吉田香奈 (山口大学大学教育センター講師)
- ⑤「資源の効率的利用」  
□講演者: 丸山文裕 (センター研究部教授)  
□コメント: 小林麻理 (早稲田大学大学院公共経営研究科教授)

- ⑥「ヨーロッパにおける大学内の予算配分」  
 講演者：山本 清（センター研究部教授）  
 コメント：川嶋太津夫（神戸大学大学教育研究センター教授）

- ⑦「アメリカにおける大学内の予算配分」  
 講演者：島 一則（センター研究部講師）  
 コメント：川嶋太津夫（神戸大学大学教育研究センター教授）

（参加者：95名）

### 3 講演会

- (1) 平成16年10月15日  
 テーマ：「中国における大学政策と研究大学の資金調達」  
 講演者：陳武元（中国アモイ大学高等教育科学研究所助教授）（参加者：21名）
- (2) 平成17年1月11日  
 テーマ：「中国における大学の内部資源配分」  
 講演者：王善邁（北京師範大学首都教育経済研究院副院長）（参加者：29名）

### 4 研究紀要の刊行

『大学財務経営研究』第1号（論文数：13本 285頁）の概要

- 天野郁夫 「専門職業教育と大学院政策」（pp. 3-49）  
 小林雅之 「高等教育の多様化政策」（pp. 53-67）  
 光田好孝 「日本の大学のカーネギー分類」（pp. 71-82）  
 山本 清 「国立大学法人の財務と評価」（pp. 85-97）  
 島 一則 「国立大学における学内資金配分」（pp. 101-119）  
 丸山文裕 「国立大学法人化後の授業料」（pp. 123-134）  
 吉田 浩 「国立大学法人の効果的運営に関する研究」（pp. 137-151）  
 城多 努 「国立大学における物品調達の分析」（pp. 155-167）  
 市川昭午 「私学の特性と助成政策」（pp. 171-185）  
 小林雅之 「国私格差是正と私学政策」（pp. 189-208）  
 Guy Neave The Temple and its Guardians: An Excursion into the Rhetoric of Evaluating Higher Education (pp. 211-227)  
 Shaun Goldfinch Examining the National University Corporation Plan and University Reform in Japan (pp. 231-261)  
 董 秀華 「中国高等教育の経費多元化政策と実践」（pp. 265-285）

### 5 その他刊行物・研究報告等

(1) 『英国における大学経営の指針（続）』（論文数：7本 249頁）の概要

- 山本 清 「第1章 序論—概要と利用に際する留意点—」（pp. 1-3）  
 仁科一彦・城多 努 「第2章 意志決定のための経営管理情報」（pp. 4-52）  
 小島泰典 「第3章 施設戦略」（pp. 53-117）  
 島 一則 「第4章 人的資源（人事管理）戦略」（pp. 118-143）  
 渡辺 徹 「第5章 リスク・マネジメント」（pp. 144-181）  
 西本清一・城多 努 「第6章 高等教育における業績指標」（pp. 182-225）  
 丸山文裕 「第7章 フランチャイズとコンソーシアム」（pp. 226-249）

(2) 教員による基盤研究発表・報告

①著書(2冊)

□天野 郁夫

- 『大学改革—秩序の崩壊と再編』2004年9月 東京大学出版会  
→ 進行中の大学改革の現状分析。行政と大学の双方にとっての課題は何かを解明。
- 『学歴の社会史』(平凡社ライブラリー版)2005年1月 平凡社  
→ 日本の学歴社会の形成過程の歴史的分析。1992年刊行書の再刊。

②審査付き論文(6本)

□天野 郁夫

- 「専門職業教育と大学院政策」『大学財務経営研究』第1号 2004年7月  
→ 戦後日本の大学院政策を専門職業人養成に焦点を絞って分析。専門職大学院制度の問題点に論及。

□山本 清

- “Corporatization of National Universities in Japan: Revolution for Governance or Rhetoric for Downsizing?” *Financial Accountability and Management*, Vol.20, No.2 2004.5  
→ 国立大学法人化、特にガバナンスとマネジメントに関する制度設計の検討から法案に至る過程を分析。
- 「国立大学法人の財務と評価」『大学財務経営研究』第1号 2004年7月  
→ 国立大学法人の自己評価及び第三者評価について想定されるモデルを理論的に類型化して利点と制約について論述。
- “Does Devolved Government Result in Successful Outcomes?” EIASM Conference 2004.10  
→ 国立大学の法人化に代表される分権的な半自律的公的組織が初期の政策目的を達成しているかを実証分析。

□丸山 文裕

- 「国立大学法人化後の授業料」『大学財務経営研究』第1号 国立大学財務・経営センター 2004年7月  
→ 国立大学法人化後の授業料の設定の方法についての問題点を指摘し、単位費用に基づいた学部別授業料を推計。

□島 一則

- 「国立大学における学内資金配分—11大学における学内重点競争資金の配分に注目して—」『大学財務経営研究』第1号 2004年7月  
→ 法人化以前における国立大学の学内重点競争的資金の実態について、11大学への訪問調査に基づいて明らかにしたもの。

③雑誌・報告書論文等(14本)

□天野 郁夫

- 「いまなぜグランドデザインなのか」『IDE 現代の高等教育』2004年4月号  
→ 中教審で検討中のグランドデザイン(高等教育の将来像)の課題を提示。
- 「専門職大学院の発足」『学術の動向』2004年4月号  
→ 発足した専門職大学院の可能性と課題を検討。
- 「国立大学法人の課題」『全大教時報』2004年4月号  
→ 法人化した国立大学の財務・経営の課題についての講演筆記をもとにした論文。
- 「グランドデザインと大学の未来像」『IDE 現代の高等教育』2004年8月号  
→ 中教審「高等教育の将来像について」答申(中間報告)へのコメント。
- 「日本の大学院問題」『IDE 現代の高等教育』2005年1月号  
→ 専門職大学院制度の発足により新段階を迎えた大学院問題の分析。

- 「大学全入時代と大学の学力問題」松田良一・正木春彦編『危機に立つ日本の理数教育』2005年1月 明石書店  
→ 全入時代の到来とともに深刻化した大学における学力問題の分析。

□山本 清

- 「高等教育のガバナンスと財務・経営」『法人化を大学改革の好機に』（関西社会経済研究所）2004年4月  
→ 国立大学法人制度をガバナンス論から整理し、ガバナンスを機能させるマネジメントの条件について考察。
- 「予算管理」『国立大学法人経営ハンドブック』第4章（国立大学財務・経営センター）2004年5月  
→ 国立大学法人における予算管理の基礎的考え方・手法と諸外国での事例などについて述べたもの。
- 「国立大学法人における財務上の課題」『高等教育研究叢書』第80号 2004年7月  
→ 国立大学法人の抱える財務上の課題、特に財源確保と効率化対応の課題と政策的問題について論述。
- 「政策評価の質的向上に向けて」①～⑤『会計と監査』第55巻第7-11号 2004年6-10月  
→ 政策評価がアカウンタビリテイと業績の向上に結びつくためにどこに課題があり、何を改善すべきかを説いたもの。
- 「大学に対する公的ファンディング」『I D E 現代の高等教育』第465号 2004年11月  
→ 大学に対する国等の財源措置政策を類型化し、その有する理論的背景と実務的課題について整理したもの。

□丸山 文裕

- 「私学助成金」市川昭午編『教育改革の論争点』教育開発研究所 2004年8月  
→ 私学助成金の最近の動向を理論的にまとめ、私学助成金の額と配分方法を検討。
- 「国立大学における資金の獲得・配分・利用状況に関する全国調査」の概要(1)(2)『教育通信』教育新社 2004年10月11日号 10月25日号  
→ 国立大学財務・経営センターが2004年3月に実施した国立大学の学長および事務局長を対象にしたアンケート調査の結果をまとめたもの。
- Latest Developments in Higher Education Financing in Japan, IAU Horizons International Association of Universities, Vol.11 n.1 March 2005  
→ 日本の高等教育の財政と国立大学の法人化の動きを英文で報告したもの。

④翻訳（3本）

- HEFCE, 山本 清訳  
「序論」『英国における大学経営の指針（続）』2004年9月
- HEFCE, 丸山 文裕訳  
「フランチャイズとコンソーシアム」『英国における大学経営の指針（続）』2004年9月
- HEFCE, 島 一則訳  
「人的資源（人事管理）戦略」『英国における大学経営の指針（続）』 2004年9月

⑤学会発表（4本）

□山本 清

- 「大学の格付けと評価」日本高等教育学会 2004年7月25日 国学院大学
- 「NPMと教育政策」日本教育社会学会 2004年9月12日 東北大学
- 「公的部門の会計専門職のあり方」日本会計研究学会 2004年9月9日 中央大学
- 「高等教育改革と財政」日本財政学会 2004年10月30日 東北学院大学

⑥講演会・シンポジウム発表等（6件）

□天野 郁夫

- 「高等教育再考——新しい大学像の模索」『2004年第22回天城学長会議報告』2004年7月 日本IBM



- 「大学の地域貢献」『地域産学公連携フォーラム2004報告書』亜細亜大 2004年10月
- 「高等教育改革の現状と課題」『高知工専教育講演会報告書 平成14-15年度』2005年1月 高知工業専門学校
- 「専門職大学院と教員養成問題」『教員養成と専門職大学院のあり方について(平成16年度日本教育大学協会主催シンポジウム報告書)』2005年3月 日本教育大学協会

□丸山 文裕

- 「ファンディングと奨学金」日本学生支援機構『政策研究会』2004年11月11日 日本学生支援機構
- 「ファンディングと私立大学」私学高等教育研究所公開研究会 2004年11月22日 私学会館

(3) 外部資金の獲得

①「国立大学における学内資金配分の変動過程に関する総合的研究」  
(科学研究費補助金・基盤研究(A)(1))

□研究代表者：天野郁夫、課題番号15203033、平成15～18年度)

□採択額：平成16年度 8,970千円 平成17年度 7,670千円

□研究成果の概要

前年度に整理したデータベースに基づき、学内資金配分について分析を進めた。この一時集計結果については、中間報告書(『国立大学における資金の獲得・配分・利用状況に関する全国調査』)において公開した。以上からは、国立大学において、重点・競争的配分資金の導入が著しく進んでおり、法人化後においてはその傾向がより強まる傾向が予想されることが明らかになった。

□研究分担者(平成16年度)

- 天野 郁夫(国立大学財務・経営センター 研究部・教授)
- 筆谷 勇(中央大学 大学院国際会計研究科・教授)
- 矢野 眞和(東京大学 大学院教育学研究科・教授)
- 北村 幸久(東北大学・副学長 流体科学研究所・教授)
- 金子 元久(東京大学 大学院教育学研究科・教授)
- 丸山 文裕(国立大学財務・経営センター 研究部・教授)
- 山本 清(国立大学財務・経営センター 研究部・教授)
- 浦田 広朗(麗澤大学 国際経済学部・教授)
- 小林 雅之(東京大学 大学総合教育研究センター・助教授)
- 吉田 浩(東北大学 大学院経済学研究科・助教授)
- 阿曾沼明裕(名古屋大学 大学院教育発達科学研究科・助教授)
- 米澤 彰純(大学評価・学位授与機構 評価研究部・助教授)
- 濱中 義隆(大学評価・学位授与機構 評価研究部・助教授)
- 島 一則(国立大学財務・経営センター 研究部・講師)
- 吉田 香奈(山口大学 大学教育センター・講師)
- 濱中 淳子(東京大学 教育学研究科基礎学力研究開発センター・特任研究員)
- 両角亜希子(東京大学 大学総合教育研究センター・助手)

②「日本の国立大学とアメリカ州立大学の授業料に関する比較分析」  
(科学研究費補助金・基盤研究(C)(2))

□研究代表者：丸山文裕、課題番号16530556、平成16～19年度)

□採択額 平成16年度 1,100千円 平成17年度 700千円

□研究成果の概要

本年度は、特に国立大学の運営費交付金と授業料との関係を理論的および実証的に検討し、制度上の問題点を明らかにできた。

③「アメリカにおける大学の学内資源配分に関する実証的研究」  
(文部科学省長期在外研究員(甲種研究員)若手教官別枠推薦、平成16年1月～17年1月)

研究員: 島 一則

金額: 4,463千円

研究成果の概要

米国州立大学におけるインディアナ大学におけるResponsibility Center Budgeting/Managementの具体的な方法(収入の帰属・間接コストの配分など)を明らかにするとともに、当該財務マネジメントについての部局長レベルにおける評価は好意的なものであることなどを明らかにした。

④「公的部分における会計制度の改革過程に関する国際比較研究」(16年度申請分)  
(科学研究費補助金・基盤研究(C)(2))

研究代表者: 山本清、課題番号17530355、平成17年～20年度)

採択額: 平成17年度 900千円

⑤「米国州立大学におけるRCB/RCMの実態と国立大学への応用可能性に関する研究」  
(16年度申請分) (科学研究費補助金・若手研究(B))

研究代表者: 島一則、課題番号17730488、平成17年～19年度)

採択額: 平成17年度 1,200千円

## 資料9

### 1. 大学トップマネジメントセミナー

#### (1) 大学トップマネジメントセミナー

##### ①日程等

(第1日目(10月20日(水)))

##### □開会挨拶

佐々木 毅 (社団法人 国立大学協会会長)

遠藤 昭雄 (国立大学財務・経営センター理事長)

##### □「大学のグランドデザイン」

佐々木 毅 (中央教育審議会大学分科会会長)

##### □パネルディスカッション

「国立大学法人の可能性」

##### パネラー

吉本 高志 (東北大学総長)

相澤 益男 (東京工業大学長)

崎元 達郎 (熊本大学長)

徳永 保 (文部科学省高等教育局審議官)

##### 司 会

天野 郁夫 (国立大学財務・経営センター研究部長)

(第2日目(10月21日(木)))

##### □事例紹介

法人化—半年後の現実と課題

##### ① 人事：岡山大学

岡山大学理事 千葉 喬三

##### ② 組織：北海道大学

北海道大学理事 井上 芳郎

##### ③ 財務：大阪大学

大阪大学理事 仁科 一彦

司 会 鷲山 恭彦 (東京学芸大学学長)

##### □グループ別討議

○人事・組織

○財務

○評価

○附属病院

○施設

○産学交流

○学生サービス

##### □総括討議

司 会 小田 章 (和歌山大学学長)

#### ②大学トップマネジメントセミナー企画委員会委員名簿

##### 【外部委員】

北村 幸久 東北大学理事 (副学長)

桐野 高明 東京大学理事 (副学長)

金子 元久 東京大学大学院教育学研究科教授

鷲山 恭彦 東京学芸大学学長

金田 章裕 京都大学理事 (副学長)

小田 章 和歌山大学学長

##### 【オブザーバー】

本間 政雄 京都大学理事 (副学長)

##### 【国立大学財務・経営センター委員】

遠藤 昭雄 理事長

三村 洋史 理事

天野 郁夫 研究部長

山本 清 教授

丸山 文裕 教授

田中 孝夫 管理部長

### ③アンケート結果の概要

(開催日) 平成16年10月20日(水)・21日(木)  
 (会場) 学術総合センター  
 (参加者数) 148名(83機関)  
 (回答数) 91件(回答率 61.5%)

#### ●全体的な感想(%は回答数に対してのもの)

・大変参考になった 41件(45.0%)  
 ・参考になった 44件(48.4%)  
 ・多少参考になった 6件(6.6%)  
 ・参考にならなかった 0件(0%)

#### ●今後のセミナーで取り上げてほしい事項(回答者61名 回答率41.2% 事項数82件)

☆人事・労務関係----- (24件 29.3%)  
 ・人事・労務(裁量労働制、病院職員の超過勤務、人事院勧告対応等) 13件  
 ・教職員の評価 4件  
 ・リスク管理のあり方(学生・教職員のメンタルヘルス) 4件  
 ・環境安全問題 3件  
 ☆組織運営----- (10件 12.2%)  
 ・役員会(経営協議会)のあり方 5件  
 ・教職員の意識改革と組織運営(大学の規模別で) 3件  
 ・事務組織の在り方と幹部職員の人事  
 ・学長選考の在り方  
 ☆財務----- (17件 20.7%)  
 ・財務戦略 8件  
 ・附属病院経営問題(病院収入に係る経営改善係数の考え方等) 7件  
 ・外部資金獲得方法 2件  
 ☆事例紹介の充実----- (12件 14.6%)  
 ・事例紹介数の増加(成功例、失敗例、経営・財務評価、任期制の導入等) 9件  
 ・私学、海外の実例 2件  
 ・個別事例を中心としたセミナー  
 ☆その他----- (19件 23.2%)  
 ・文部科学省との質疑応答等、中央での情報収集 3件  
 ・今回の枠組みで良い 3件  
 ・地方大学における地域連携(個性化戦略) 2件  
 ・国立大学法人総体としてのミッションと個々の大学との関係 2件  
 ・大学間連携(広報、知財、教職員の地域間での流動化等)  
 ・知的財産の創出、管理、活用に関する実務的な体制について  
 ・実務的な部分での統一的事実(国立大学法人として可能、不可能の詳細)  
 ・私立大学との共存法  
 ・入試の在り方  
 ・情報管理  
 ・大学・大学院改組、専門職大学院、入学定員の適正化  
 ・監事業務  
 ・附属学校問題

#### ●セミナーの持ち方等についての意見、希望等(回答者55名 回答率37.1% 事項数52件)

☆グループ別討議の充実----- (17件 32.7%)  
 ・グループ別討議に多くの時間がほしい 9件  
 (部会討議の充実、参加者の担当毎のディスカッション、ワークショップ形式でのディスカッション、グループの細分化-大学の規模別等)  
 ・日程を延ばし、参加者が複数のグループ別討議に参加できるように 2件  
 ・グループ別討議でのテーマ設定 3件  
 ・グループ別討議では担当(第一希望)を配慮願いたい 2件  
 ・グループ別討議に外部有識者に参画願いたい  
 ☆ テーマの絞り込み----- (12件 23.1%)  
 ・1回で複数のテーマを扱うのではなく、少ないテーマで複数回の開催を望む 6件  
 ・大学の規模別でのセミナー 2件

- ・分科会方式における大学間の共通の課題設定
  - ・グループ別討議のテーマ毎のセミナー開催
  - ・テーマ別のセミナーの開催－「人事関係」、「財務関係」、「評価」等
  - ・事前アンケートによるテーマ設定
- ☆人数の絞り込み----- (6件 11.5%)
- ・今回の方式が良いがグループは絞るべき 3件
  - ・より実践的な少人数によるディスカッションを採り入れたセミナー
  - ・教官・事務官等の出身別のセミナーを希望
  - ・部長以下のセミナー
- ☆事例紹介----- (2件 3.8%)
- ・特筆すべき取り組みを行っている大学の報告を聞きたい
  - ・各大学法人の取り組み状況等を事前に調査・集計したものを配付願いたい
- ☆その他----- (15件 28.9%)
- ・継続的な開催を希望 8件
  - ・民間における人件費抑制、外注経費の抑制方策を知りたい 2件
  - ・私学、外国の大学事情に関する事例セッション
  - ・経営協議会学外委員が参画してのパネルディスカッション  
「学外者から見た国立大学法人経営のあり方－課題と展望」
  - ・経営戦略における専門的学習の場を作ってほしい
  - ・研修事業の充実
  - ・パネルディスカッションの議論がかみ合わない面があった

## (2) 国立大学病院経営セミナー

### ①日程等

(第1日目(3月9日(水)))

#### □開会挨拶

文部科学省：大臣官房審議官(高等局担当) 泉 紳一郎  
国立大学協会：副会長(九州大学長) 梶山 千里

#### □基調講演

「国立大学病院の管理・運営の在り方－国立病院独法化の経験を踏まえて－」  
独立行政法人国立病院機構理事長 矢崎 義雄

#### □特別講演

「民間医療機関における経営手法」  
医療法人鉄蕉会亀田総合病院副理事長・東京医科歯科大学理事 亀田 隆明

#### □文部科学省説明

高等教育局国立大学法人支援課  
高等教育局医学教育課  
大臣官房文教施設企画部計画課  
高等教育局大学振興課

(第2日目(3月10日(木)))

#### □事例に基づく課題別研究

- 「国立大学附属病院の経営問題に関するアンケート調査結果」の概要説明
- 「国立大学病院の経営に関する第1次提言」の概要説明
- 事例発表
  - ・東京大学
  - ・滋賀医科大学
  - ・山梨大学

#### □グループ別討議

- ①経営体制 ②人事・労務 ③財務改善
- 各テーマ2グループ、計6グループ

#### □総括討議

- 各グループからの発表 6グループ
- 総括討議

### ②国立大学病院経営セミナー企画委員会委員

【文部科学省】

山本 晃 高等教育局医学教育課大学病院支援室長  
神田 和明 高等教育局医学教育課大学病院支援室室長補佐

【(社)国立大学協会】

豊田 長康 三重大学長  
 本間 政雄 京都大学理事  
 【国立大学附属病院院長会議】  
 藤澤 武彦 千葉大学医学部附属病院長  
 井口 昭久 名古屋大学医学部附属病院長  
 【国立大学財務・経営センター】  
 遠藤 昭雄 理事長  
 三村 洋史 理事  
 天野 郁夫 研究部長  
 山本 清 教授  
 丸山 文裕 教授  
 田中 孝夫 管理部長

### ③アンケート結果の概要

(開催日) 平成17年 3月 9日(水)・10日(木)  
 (会場) 学術総合センター  
 (参加者数) 144名(42機関)  
 (回答数) 67件(回答率 46.5%)

#### ●全体的な感想(％は回答数に対してのもの)

・大変参考になった 32件(47.8%) ・参考になった 34件(50.7%)  
 ・多少参考になった 1件(1.5%) ・参考にならなかった 0件(0%)

#### ●各テーマの満足度 [多少参考になった、参考にならなかった理由]

##### □基調講演

・大変参考になった 36件(53.7%) ・参考になった 28件(41.8%)  
 ・多少参考になった 3件(4.5%) ・参考にならなかった 0件(0%)  
 [総論的であった。現実との相違。2%の厳しさが理解できていない。]

##### □特別講演

・大変参考になった 31件(46.3%) ・参考になった 32件(47.7%)  
 ・多少参考になった 4件(6.0%) ・参考にならなかった 0件(0%)  
 [総論的であった。理解済みの内容。地域医療にはあまり参考にならない。]

##### □文部科学省説明

・大変参考になった 20件(29.9%) ・参考になった 35件(52.2%)  
 ・多少参考になった 10件(14.9%) ・参考にならなかった 2件(3.0%)  
 [一般的な説明であり事項に特化した説明を希望。他の会議で説明済。]

##### □グループ別討議

・大変参考になった 23件(36.5%) ・参考になった 33件(52.4%)  
 ・多少参考になった 7件(11.1%) ・参考にならなかった 0件(0%)  
 ・未回答 4件  
 [事例的には参考となるが、その背景等の学習には時間と範囲に工夫が必要]

##### □総括討議

・大変参考になった 19件(35.8%) ・参考になった 29件(54.8%)  
 ・多少参考になった 5件(9.4%) ・参考にならなかった 0件(0%)  
 [一般論となるのはやむを得ない]  
 ・未回答 14件

#### ●今後の開催についての意見

・今後の開催について  
   開催を希望する 65件(100%)  
   開催を希望しない 0件  
   未回答 2件  
 ・開催時期について  
   今回と同時期でよい 34件(57.6%)

5～6月頃	7件 (11.8%)
9～10月頃	6件 (10.2%)
11～12月頃	6件 (10.2%)
1～2月頃	4件 (6.8%)
7～8月頃	2件 (3.4%)
未回答	8件

・開催期間について

今回と同様でよい	55件 (90.2%)
1日程度の開催を希望	5件 (8.2%)
3日程度の開催を希望	1件 (1.6%)
未回答	6件

・対象者について

現状でよい	59件 (98.3%)
絞った方がよい	1件 (1.7%)
未回答	5件

●今後取り上げて欲しい事項について (回答者11名 回答率7.6% 事項数12件)

☆内容の深化—— (3件 25.0%)

- ・グループ別討議は議題をしぼって欲しい。
- ・1つ1つの問題についてもっと具体的に。
- ・もう少しデータに基づく議論があればと思う。

☆収入—— (2件 16.7%)

- ・増収等をメインに。
- ・産学連携、法人化2～3年目の病院経営、民間資金の導入。

☆その他—— (7件 58.3%)

- ・各課題は早急に解決できるものではないため、今回のテーマを引き続き取り上げ、進捗状況やフォローをすることが必要。
- ・今回のように事前アンケートをとっていただくとありがたい。今回は広範囲にわたり取り上げられていたと思う。
- ・民間医療機関、私立大学の経営の具体例。
- ・医学部との関係、特に教官人事について
- ・地域との関係、特に地方公共団体との関係、補助金等
- ・経営コンサルタントの話
- ・民間病院等の人をアドバイザーとしてまじえたグループ討議

●その他、意見・感想について (回答者17名 回答率11.8% 事項数11件)

☆対象者の拡大—— (5件 45.5%)

- ・学長と病院との交流の場という意味で有用と思われる。
- ・学長、法人事務局長、財務部長を強制参加させるべき。
- ・本部事務局長の参加を望む。また、医師以外の学長の参加が望ましい。
- ・病院の実情を理解してほしい人 (法人理事等) がもっと参加する必要がある。
- ・学長又は理事、局長 (病院を経験したことのない) の参加がもう少しの方がよい。

☆その他—— (6件 54.5%)

- ・提言内容毎に国、法人、病院長、医学部に分けて出すべき。
- ・どぶりの中で自由な裁量でやられている事例報告を。
- ・経営的観点があまりに少なかったことの反動として、経営的側面を第一としてしまうことのないようにする必要があると感じている。国立大学病院セクターとしてのミッション、各大学病院別のミッションをきちんと立てないままの「経営」はありえないのではないか。(おおいに改善の余地があることを否定しているわけでない。)
- ・「事例に基づく課題別研究」で参考になる考え方が多かった。
- ・問題点は明らかになり、各論的な対応策についてはいろいろ参考になることがあったように思う。しかし、根本的、総論的な解決策が大変難しいということがわかった。
- ・発表された大学 (東大を除く) は、本学の収入以下 (病床数、規模は同じ) であり、余裕のあるところなので、改善されて当然、限界点を越えたところが大変。

## 2. 大学財務・経営セミナー

### (1) 日程等

第1日目(1月27日(木))

(人事・労務の部)

- ①「労働関係法令の基礎と実務」 盛 誠吾(一橋大学大学院法学研究科教授)
- ②「人事管理の基礎」 守島基博(一橋大学大学院商学研究科教授)
- ③「民間における能力開発・採用・退職管理の理論と実際」  
武藤泰明(三菱総合研究所主席研究員)
- ④「外国における教職員の人事管理・業績評価の実態」  
川嶋太津夫(神戸大学大学教育研究センター教授)

第2日目(1月28日(金))

(財務・会計の部)

- ①「大学の財務・経営戦略」  
龍 慶昭(城西大学経営学部教授)
- ②「経理財務・会計の仕組みと実際」  
金児 昭(前金融監督庁(現金融庁)顧問、(株)信越化学工業顧問)
- ③「予算管理の理論と実践」  
櫻井通晴(専修大学大学院経営学研究科長)
- ④「財務改善の事例研究」  
井原 徹(早稲田大学理事)

### (2) 大学財務・経営セミナー企画委員会名簿

【外部委員】

磯田 文雄 筑波大学理事(副学長)  
上杉 道世 東京大学理事  
川本 幸彦 東京医科歯科大学理事(事務局長)  
清水 啓典 一橋大学理事(副学長)  
田丸 憲二 山梨大学理事(事務局長)  
本間 政雄 京都大学理事(副学長)  
仁科 一彦 大阪大学理事(副学長)  
早田 憲治 九州大学理事(事務局長)  
宮脇 和夫 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構理事  
諸橋 輝雄 国立大学協会常務理事

【国立大学財務・経営センター委員】

遠藤 昭雄 理事長  
三村 洋史 理事  
天野 郁夫 研究部長  
山本 清 教授  
丸山 文裕 教授  
田中 孝夫 管理部長

### (3) アンケート結果の概要

#### ①人事・労務の部

(開催日) 平成17年 1月27日(木)  
(会場) 学術総合センター  
(参加者数) 197名(90機関)  
(回答数) 93件(回答率 47.2%)

#### ●全体的な感想(%は回答数に対してのもの)

- ・大変参考になった 28件(30.1%)
- ・参考になった 59件(63.4%)
- ・多少参考になった 6件(6.5%)



・参考にならなかった 0件 ( 0%)

●今後のセミナーで取り上げてほしい事項 (回答者 55名 回答率 27.9% 事項数 58件)

☆事例紹介----- (33件 56.9%)

- ・労働基準関係法令の運用に係る実際上の問題、教職員の評価、団体交渉の現状と対応策等のより具体的内容、事例研究を希望 23件
- ・私立大学、民間企業等の人事管理・業務運営の実態 (評価方法等) 9件
- ・過重労働、サービス残業対策にたいする取り組み状況

☆労働関連法制度の解説----- (7件 12.1%)

- ・労基法、セクハラ争議等の判例解説 2件
- ・労働安全関係の講義を希望 2件
- ・労働法制の詳細を担当者レベルで実施してほしい 2件
- ・エフォート制や年俸制を導入した場合に労基法等の法制上の制約を受ける内容

☆その他----- (18件 31.0%)

- ・人事評価の導入と個人評価の給与への反映方法 6件
- ・法人化後の教育、研究環境整備の考え方 5件
- ・共通事案に基づくパネルディスカッション形式 2件
- ・社会と学生の視点に立った教育改革
- ・国立大学冬の時代に向かう経営戦略
- ・苦情処理体制
- ・HRMシステムの構築方法について
- ・病院運営

●セミナーの持ち方等についての意見、希望等 (回答者 33名 回答率 16.7% 事項数 27件)

☆内容の深化----- (10件 37.0%)

- ・より実践的な制度と課題を取り上げて欲しい 3件
- ・法人化後に発生した諸問題、諸課題等の検討のための分科会方式の導入 3件
- ・質問時間を取ってほしい 3件
- ・講演のテーマが広いと、90分ではカバーできない、内容を絞って複数回のシリーズでの実施を

☆その他----- (17件 63.0%)

- ・継続的な開催を希望 6件
- ・1日: 90分×3本が望ましい4本の場合は昼休みを短縮し休憩を20分に 4件
- ・10~11月頃の開催を希望 3件
- ・セミナー全体の日数及びコマ数の関係にもよるが、内容に応じて60~120分の幅があっても良いのでは 2件
- ・1コマの時間をもっと長く (昼休みの短縮)
- ・1コマ90分通しは少し長い

②財務・会計の部

(開催日) 平成17年 1月28日 (金)

(会場) 学術総合センター

(参加者数) 192名 (89機関)

(回答数) 93件 (回答率48.4%)

●全体的な感想 (%は回答数に対してのもの)

- ・大変参考になった 26件 (28.0%)
- ・参考になった 46件 (49.5%)
- ・多少参考になった 21件 (22.5%)
- ・参考にならなかった 0件 (0%)

●今後のセミナーで取り上げてほしい事項 (回答者 49名 回答率 25.5% 事項数 51件)

☆事例紹介----- (28件 54.9%)

- ・国立大学法人下における財務経営に関する問題事例についての研究事例 25件
- (・大学法人の財務会計、管理会計の実例に近いテーマ・国立大学法人に関する先導的な事例、提案・具体的な例を示してのケーススタディ・私学とは異なる国立大学法人としての具体的な経営戦略・企業における具体的な経営戦略事例紹介・マネジメントについての実践事例や実践に向けての示唆・法人化1年を振り返っての問題点、改善点等を財務担当

- 理事等による現場の声を聞いてみたい・早稲田大学の改善事例のような具体例を多く取り込んだテーマ設定－6件)
- ・大学病院の財務改善事例 2件
  - ・大学の経営危機や経営破綻の実例とその問題点を整理した報告
- ☆管理会計----- (9件 17.6%)
- ・財務諸表の調査、分析、決算業務、決算の分析、剰余金の活用等、大学としての戦略性を検討できるテーマ設定 8件
  - ・セグメント別経理について
- ☆その他----- (14件 27.5%)
- ・今回と同様の形式でお願いしたい 4件
  - ・組織の見直しの手法と人件費(超過勤務を含む削減)管理 3件
  - ・国立大学が保有する資産・不動産の運用に関する実務的な課題 2件
  - ・予算と国立大学法人会計(決算)の差異と整合性、具体的業務の効率化について、両者に言及する講座をセミナー形式で取り上げて欲しい
  - ・「世界の大学財政」(設置形態別、学生納付金、政府補助の算定方法、地方自治体の関与、寄付金等の収集状況、産学連携経費の収集状況等)
  - ・話題の企業、財政赤字を抱える地方公共団体の長、文化人、政治家等、他分野の講師を招いていただき国立大学法人への考え方や要望を伺いたい
  - ・「社会あるいは企業から見た国立大学とはどのようなものか。」をテーマに
  - ・地方大学にとって収入の獲得は重要テーマであるため「収入論」を実際の経験を踏まえて講義してほしい
- セミナーの持ち方等についての意見、希望等(回答者33名 回答率17.1% 事項数31件)
- ☆実務的な内容----- (17件 54.8%)
- ・学問、理論よりも実践、実務的な報告並びにグループ討議等の情報交換の時間がほしい 10件
  - ・一般企業の財務戦略が、必ずしも参考となるものではなく、大学の例に絞った講義を望む。講演内容等報告者による差異が大きかった。演者の精選を。 4件
  - ・実務担当レベル(若手職員)対象とした同様のセミナー開催を希望 2件
  - ・私学の実践例をもっと取り入れてほしい
- ☆その他----- (14件 45.2%)
- ・現在的方式でよい 3件
  - ・質問時間をもっと取ってほしい 3件
  - ・地方開催による研修機会の増、SCS配信による聴講者増を希望 2件
  - ・90分4コマは集中力の点から少し長い 2件
  - ・セミナー開催時間はちょうどいい
  - ・国立大学法人の財政担当理事の現状での経営管理を総合、単科大学別に開催してほしい
  - ・人事や財務などという分け方だけではなく、横断的かつ具体的事例を通じた経営戦略や経営責任等の在り方をセミナーとしてあげれば、担当(者)だけでなく総合的に聞けると思う。
  - ・参加費を徴収してはどうか

### 3. 大学職員マネージメント研修

#### (1) 日程等

	第1日 (10/25)	第2日 (10/26)	第3日 (10/27)	第4日 (10/28)	第5日 (10/29)
		<b>会 計 (I)</b> [総論・貸借対照表1] 監査法人トーマツ 西原浩文  (180分) (休憩適宜)	<b>会 計 (IV)</b> [その他の財務諸表] 監査法人トーマツ 黒川 肇  (180分) (休憩適宜)	<b>コスト管理</b> 中央青山監査法人 稲垣 正人  (180分) (休憩適宜)	<b>財務分析</b> あずさ監査法人 堀乃北 重久  (180分) (休憩適宜)
		昼 食	昼 食	昼 食	昼 食
13:00					
13:30	受 付				
13:40	オリエンテーション				
13:50	開会挨拶	<b>会 計 (II)</b> [貸借対照表2] 監査法人トーマツ 西原浩文  (120分)	<b>会 計 演 習</b> 監査法人トーマツ 黒川 肇  (120分)	<b>コスト管理演習</b> 中央青山監査法人 稲垣 正人  (120分)	<b>財務分析演習</b> あずさ監査法人 堀乃北 重久  (120分)
	「国立大学法人の財務と経営」 国立大学財務・経営センター 教授 山本 清  (90分)				
15:20	休 憩	休 憩	休 憩	休 憩	閉 会
15:30	休 憩				
	<b>経営戦略</b> 中央青山監査法人 奥田健一  (90分)	<b>会 計 (III)</b> [損益計算書] 監査法人トーマツ 黒川 肇  (100分)	<b>資金管理</b> 新日本監査法人 堀越 喜臣  (100分)	<b>監 査</b> あずさ監査法人 市東 康男  (100分)	
17:00					

於：国立オリンピック記念青少年総合センター

#### (2) アンケート結果の概要

(開催日) 平成16年10月25日(月)～29日(金)  
 (会場) 国立オリンピック記念青少年総合センター  
 (参加者数) 106名(89機関)  
 (回答数) 96件(回答率 90.6%)

●全体的な感想(%は回答数に対してのもの)

- ・大変参考になった 36件(37.5%)
- ・参考になった 54件(56.3%)
- ・多少参考になった 6件(6.2%)
- ・参考にならなかった 0件(0%)

●今後の研修で取り上げてほしい事項(回答者75名 回答率70.7% 事項数78件)

☆会計実務	(29件 37.2%)	
・決算・管理会計の実務研修		13件
・国立大学法人の会計基準の詳細な解説		5件
・今回の事項よりも詳細なもの(総論ではなく各論的なもの)		4件
・簿記レベルが低い受講生を対象に研修時間外での簿記研修		2件
・実務に即した伝票処理、決算整理		
・予算・決算・資金管理等の各業務担当者を対象とした専門研修		
・附属明細書関係、関係公益法人関係、C/Fの仕訳等		
・実務者レベルのより実践的な事象による演習を中心としたもの		
・問題の詳細な解説		
☆会計情報の分析・マネジメント	(9件 11.5%)	
・財務諸表作成後の分析結果を法人運営に反映させる実務研修(アドバイス)		4件
・決算、財務分析、コスト管理に重点をおいたもの		2件
・マネジメントに関する思考、資料作成、プレゼン手法を学べるもの		
・財務会計システムの有効利用		
・国立大学法人運営の実態に踏み込んだもの		
☆事例紹介	(17件 21.8%)	
・他大学の事例紹介、実務事例での分析報告		9件
・他大学との情報交換(班別討議式の演習問題等)		4件
・私大や民間企業による実践的・経験的な講義		3件
・大学法人の経営戦略策定上、参考となる国内・外の実例		
☆その他	(23件 29.5%)	
・リスクマネジメント		3件
・中期目標・中期計画の達成について(評価の考え方)		2件
・消費税に関するカリキュラム		2件
・役員を対象としたもの		2件
・今回の内容で良い		
・総務・企画職員を対象とした研修		
・大学法人に該当する具体的な科目を採り入れたもの		
・施設マネジメント		
・民間企業のマーケティングを採り入れた学生確保、産学連携の顧客創生に適合できるカリキュラム		
・演習問題を増やしてほしい		
・病院に特化した研修		
・国立大学法人として実施可能な具体的な戦略(予算、人事、執行等)		
・範囲を限定し、1コマの時間を増やす		
・評価対応、効率化係数対応、外部資金獲得を採り入れてほしい		
・労務管理		
・資金管理、運用方法の詳細なもの		
・業務分析、教育、研究成果の評価方法、経営努力認定の取り扱い、予算損益計算書の策定方法		
・監査関係で業務監査に関することも取り上げてほしい。(具体的な監査項目や監事との関係等)		

●研修の持ち方等についての意見、希望等 (回答者71名 回答率66.9% 事項数72件)

☆受講者の拡大	(12件 16.7%)	
・多数の者が参加できるように年2回程度の開催を希望		4件
・地区別(ブロック別)に短期間の研修を希望		2件
・若手職員・係長を中心とした研修を開催してほしい		2件
・教材と講義のビデオテープを各大学へ送付してほしい		
・参加人数に限りがあるのでSCS配信を検討してほしい		
・財務担当者以外の人事等の担当者も参加できる研修		
・高専機構本部のみでなく、高専職員も対象としてほしい		
☆対象者の絞り込み	(18件 25.0%)	
・グループ別討議、班別演習、少人数によるゼミナール方式		10件
・研修内容を各実務担当者別とし2~3日で開催してほしい		3件
・受講対象を管理職、実務担当者別としてほしい		3件
・演習を中心とした実務者研修を希望		2件

☆テーマの絞り込み-----	(14件 19.4%)	
・財務会計の中でテーマを絞った研修(分野別に予算、財務諸表、監査等)		10件
・ハンドブック中心の講義を希望		2件
・ケーススタディの回数を増やしてほしい		
・財務諸表等の作成方法よりも判断力を養成する研修を望む		
☆開催時期-----	(6件 8.3%)	
・中間決算の大学もあるので開催時期を考慮(7~8月、11月初旬)		2件
・規定等作成時のもう少し早い時期での開催であれば更に有意義だった		
・開始・終了時刻の繰り下げ(9:30~17:30)		
・最終日は午前中での終了を望む		
・研修期間・開催場所は最適と考える		
☆その他-----	(22件 30.6%)	
・会場が手狭であった		5件
・今回の方式で良い、今後も継続開催を希望する		4件
・個々の講義時間が少ないように感じた		2件
・講義後に演習問題が用意されており理解に役立った		2件
・参加者名簿にメールアドレスを入れることで今後の情報交換に役立つ		2件
・1コマの時間を短縮し、講義の種類を増やしてほしい		
・講師間での資料内容に格差があった		
・会計基準、簿記の知識の差により理解度に差が生ずる内容だった		
・講義の内容が参考になることが多く勉強になった		
・懇親会等の情報交換の場を設けてほしい		
・大学独自での研修開催が困難なため、センターに期待する。また、研修のノウハウを大学へ教える取り組みがあればありがたい		
・各分野で事前に質疑を受講者から取り寄せ、講義の中で検証する方法		

## 資料 10

### 1. 英国における大学経営の指針（続）

- 第1章 序論 一概要と利用に際する留意点一
- 第2章 意思決定のための経営管理情報
- 第3章 施設戦略
- 第4章 人的資源（人事管理）戦略
- 第5章 リスク・マネジメント
- 第6章 高等教育における業績指標
- 第7章 フランチャイズとコンソーシアム

### 2. 国立大学法人経営ハンドブック

#### (1) 第1集（刊行済み）

- 第1章 国立大学法人制度の特色
- 第2章 経営と戦略
- 第3章 目標と計画
- 第4章 予算の管理
- 第5章 組織の管理
- 第6章 モニタリングと経営改善へのフィードバック
- 第7章 予算執行の管理と会計
- 第8章 資産と負債の管理
- 第9章 コストの管理
- 第10章 監査
- 第11章 財務分析

#### (2) 第2集（予定）

- 第1章 リーダーシップ
- 第2章 人事管理
- 第3章 組織業務の管理
- 第4章 業績評価
- 第5章 情報システム管理
- 第6章 リスク管理
- 第7章 施設管理
- 第8章 学生支援・サービス管理

#### (3) 国立大学法人経営ハンドブック編集委員会委員（所属は平成17年3月現在）

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 山本 順二         | 東京農工大学理事・副学長（総務担当） |
| 徳重 眞光         | 横浜国立大学事務局長         |
| 村山 典久         | 滋賀医科大学理事（経営等担当）    |
| 仁科 一彦         | 大阪大学理事・副学長         |
| 平野 浩之         | 東京大学財務部財務課長        |
| 鈴木 豊          | 青山学院大学経営学部教授       |
| 小野澤永秀         | 元実践女子大学・短期大学講師     |
| 市東 康男         | あずさ監査法人            |
| 堀之北重久         | あずさ監査法人            |
| 黒川 肇          | 監査法人トーマツ           |
| 西原 浩文         | 監査法人トーマツ           |
| 落合 智治         | 新日本監査法人            |
| 堀越 喜臣         | 新日本監査法人            |
| 稲垣 正人         | 中央青山監査法人           |
| 奥田 健一         | 中央青山監査法人           |
| 佐藤 慎悟         | ベリングポイント株式会社       |
| 中原 隆一         | 株式会社日本総合研究所        |
| 高橋 雅央         | 株式会社野村総合研究所        |
| 穴戸 和子         | 株式会社三菱総合研究所        |
| 国立大学財務・経営センター | 理事長、理事、監事、研究部、総務部  |

### 3. 国立大学法人の財務概要（仮称）企画検討会委員（所属は平成17年3月現在）

佐藤 誠二	静岡大学理事・副学長
黒崎 米造	横浜国立大学財務部財務課長
鈴木 豊	青山学院大学経営学部教授
小野澤永秀	元実践女子大学・短期大学講師
舛川 博昭	あずさ監査法人
黒川 肇	監査法人トーマツ
植草 茂樹	新日本監査法人
稲垣 正人	中央青山監査法人
国立大学財務・経営センター	理事長、理事、研究部、総務部

### 4. 国立大学法人財務・経営データベース検討委員会委員（所属は平成17年3月現在）

高井 陸雄	東京海洋大学長（国立大学協会大学経営委員会財務・施設小委員会座長）
北見 耕一	大阪大学理事（人事労務担当）・事務局長
櫛山 博	東京大学医学部附属病院事務部長
小松 茂喜	東京医科歯科大学経理部長
中西 満	東京工業大学財務部主計課長
黒崎 米造	横浜国立大学財務部財務課長
丸山 修一	大学評価・学位授与機構評価事業部評価第3課長
平 光正	静岡産業大学経営学部助教授
村上 秀男	日本私立学校振興・共済事業団私学情報部データベース課長
植草 茂樹	新日本監査法人
吉村 真木子	スタンダード&プアーズ
岸 敬	株式会社ケイシステムマネジメント
小阪 真	株式会社日本総合研究所
峰尾 学	株式会社三菱総合研究所
国立大学財務・経営センター	理事長、理事、監事、研究部、総務部

### 5. 国立大学法人等財務管理等に関する協議会の概要

（第1回） 日程：平成16年5月20日（木）～21日（金）（2日間）

場所：学術情報センター一橋記念講堂 受講対象者：財務担当部（課）長

参加者数：251名

プログラム：

（第1日目）

- 国立大学法人化後の人事管理上の諸問題
- 法人化後の政府調達
- 事務情報化の推進
- 施設整備
- 事例紹介Ⅰ ○ 事例紹介Ⅱ

（第2日目）

- 国立大学法人化後の動き
- 概算要求
- 財産評価委員会
- 会計検査院の検査状況

（第2回） 日程：平成16年9月17日（金）

場所：学術情報センター一橋記念講堂 受講対象者：財務担当部（課）長

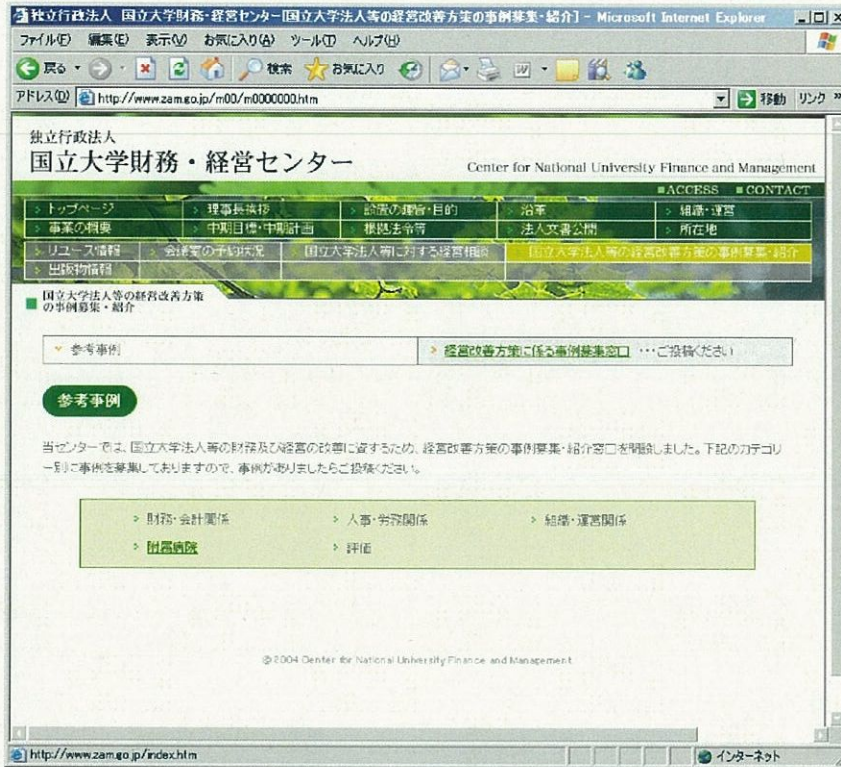
参加者数：225名

プログラム：

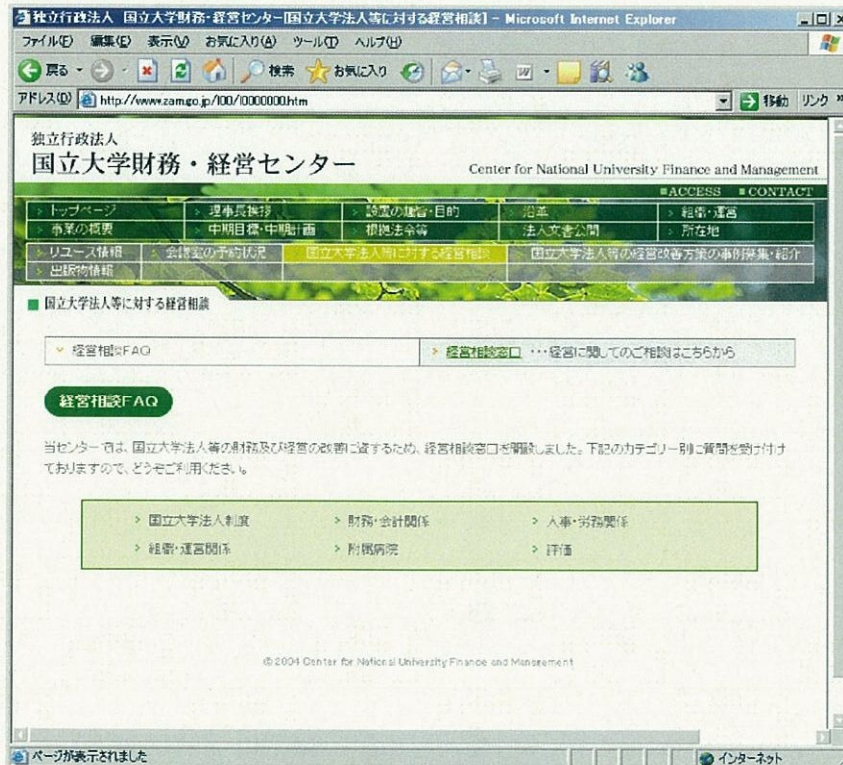
- 三位一体改革等国を取り巻く諸事情
- 国立大学法人化後の諸問題
- 国公私共通の支援事業
- 経営努力認定の考え方
- 国立大学法人化後の諸状況
- 施設整備費概算要求
- 事例紹介
- その他

# 資料 1 1

## 1. 国立大学法人等の経営改善方策の事例募集・紹介窓口



## 2. 国立大学法人等に対する経営相談窓口





## 資料 1 2

### 1. 平成16年度大学共同利用施設稼働状況

平成16年度稼働日数 357日 (365日-休業日(12/28~1/4))

#### 学術総合センター

		総件数	メンテナンス等による休館	稼働率
講堂・会議室等 (11室)	午前	1,333	176	35.5%
	午後	1,538	171	40.9%
	夜	1,216	175	32.4%
	合計	4,087	522	36.3%

#### キャンパス・イノベーションセンター

		総件数	メンテナンス等による休館	稼働率
東京地区 (43室)	午前	8,900	6	58.0%
	午後	8,981	6	58.5%
	夜	8,909	10	58.1%
	合計	26,790	22	58.2%

		総件数	メンテナンス等による休館	稼働率
大阪地区 (23室)	午前	2,708	0	33.0%
	午後	2,717	0	33.1%
	夜	2,708	0	33.0%
	合計	8,133	0	33.0%

		総件数	メンテナンス等による休館	稼働率
合 計 (66室)	午前	11,608	6	49.3%
	午後	11,698	6	49.7%
	夜	11,617	10	49.3%
	合計	34,923	22	49.4%

#### 全施設合計

		総件数	メンテナンス等による休館	稼働率
(77室)	午前	12,941	182	47.4%
	午後	13,236	177	48.5%
	夜	12,833	185	47.0%
	合計	39,010	544	47.6%

### 2. 大学共同利用施設のアンケート結果の概要

#### (1) 学術総合センター

アンケート実施期間 : 平成16年11月12日~平成17年3月31日

アンケート配布数 : 170件

回答数 : 21件

回答率 : 12.4%

好評アンケート : 21件中13件(内容は下表のとおり) 61.9%

No.	利用年月日	利用室名	コメ ン ト
1	16.11.12	特別会議室	101号室自体はすばらしい会議室だと思った。
2	16.11.13	会議室	設備・事務局のサポート等は十分。
3	16.11.13	一橋記念講堂, 中会議場, 会議室, 貴賓室	マイクの調整が良かった。今後も宜しくお願ひしたい。
4	16.11.13	中会議場	部屋のサイズ、清潔さ、設備、スタッフの方の対応、全て満足。

5	16. 11. 19	中会議場	マイクの調子良かったので、会議がスムーズに運んだ。
6	16. 11. 25	中会議場	概ね、快適だった。
7	16. 11. 25	中会議場	机のレイアウト（会議用）を変更していただいだけ、とても助かった。
8	16. 11. 26	中会議場	スムーズに鍵を借りられた。打合せどおり完璧に準備ができていた。鍵の返却がスムーズにできた。大変スムーズにすべての準備が出来、とても感謝している、今後とも同じようなサービスを続けてほしい。
9	16. 11. 29	中会議場	設備が充実しており、会場もきれいで非常に使いやすかった。インターネット上で空き状況が把握できる点もよいと思った。
10	16. 12. 6	一橋記念講堂, 中会議場, 会議室, 貴賓室, 特別会議室	設備的には満足した。
11	17. 1. 9	一橋記念講堂, 中会議場, 会議室	以前よりも格段に利用しやすくなりとてもよかった。特に、鍵の受け渡し時間など融通を利かせいただき（以前は非常にやりにくかった。）とても助かった。また、来年同じ会議で利用したい。
12	17. 1. 10	特別会議室	事前の連絡、当日の対応、すべて丁寧で細やかで大変満足している。
13	17. 3. 19	中会議場	会場の設営を事前にしてもらえて良かった。センターの方が親切な方ばかりで良かった。また利用する機会があったら、よろしく願いたい。

(2) キャンパス・イノベーションセンター

アンケート対象期間：平成16年4月1日～平成17年3月31日

アンケート配布数：34件（東京地区26、大阪地区8）

回答数：24件

回答率：70.6%

満足・概ね満足アンケート：24件中24件（内容は下表のとおり） 100%

No.	地区	入居開始日	利用目的	利用全般について	コメント
1	東京	16. 4. 1	サテライト	概ね満足	共有部分：明るく快適である。 窓口対応等：丁寧に対応して頂いている。
2	東京	16. 4. 1	リエゾン	満足	窓口対応等：親切で有り難く思っている。
3	大阪	16. 8. 1	リエゾン	概ね満足	
4	大阪	16. 4. 1	サテライト	概ね満足	共有部分：図書室に設置されたコピー機は、臨機に授業教材を作成する必要があるときなど有効であった。 窓口対応等：夜間まで授業を行ったため、事務室の方に戸締りなど大変ご迷惑をおかけしたが、大変丁寧な対応で、親切であった。感謝している。
5	大阪	16. 4. 1	リエゾン	概ね満足	
6	東京	16. 4. 1	リエゾン	概ね満足	窓口対応等：明るく丁寧な対応で気持ちが良い。
7	大阪	16. 4. 1	リエゾン	概ね満足	居室：ビジネスに取り組むには高水準の設備・備品である。 窓口対応等：東西の距離を越えて、また阪大中之島センターとの連携でよくお世話頂いていると思う。
8	東京	16. 4. 1	リエゾン	概ね満足	窓口対応等：とても良い対応だと思う。
9	東京	16. 11. 1	サテライト	概ね満足	窓口対応等：窓口の対応は良いと思う。
10	東京	16. 4. 1	リエゾン	満足	居室：現状で満足している。 窓口対応等：いつも丁寧に感じよく対応頂いている。

11	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	
12	東京	16.12.1	リエゾン	概ね満足	
13	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	居室：移動式の白板は有り難い。 共有部分：いつでも使用できるのが有り難い。掃除も常に綺麗で気持ちよく活動できる。 窓口対応等：色々とお気配りしてくれるので助かる。
14	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	
15	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	窓口対応等：とても丁寧に應對して頂いて満足している。
16	大阪	16.4.1	サテライト	満足	窓口対応等：受付の皆さんがいつも丁寧な対応をさせていただき喜んでいる。
17	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	居室：快適である。 窓口対応等：應對が親切である。
18	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	窓口対応等：親切に應對頂いている。
19	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	窓口対応等：大変良くして頂いている。
20	東京	16.11.1	リエゾン	概ね満足	窓口対応等：皆さんとても應對が良く気持ちが良いので引き続き頑張りたい。
21	東京	16.4.1	リエゾン	概ね満足	
22	東京	16.10.1	リエゾン	概ね満足	
23	大阪	16.10.1	サテライト	概ね満足	
24	大阪	16.4.1	サテライト	概ね満足	

### 3. ホームページ上での大学共同利用施設の予約画面の概要

国立大学財務・経営センター [会議室等月別予約状況] - Microsoft Internet Explorer

独立行政法人  
国立大学財務・経営センター  
Center for National University Finance and Management

■ACCESS ■CONTACT

[トップページ](#)
[理事長挨拶](#)
[設置の趣旨・目的](#)
[沿革](#)
[組織・運営](#)  
[事業の概要](#)
[中期目標・中期計画](#)
[根拠法令等](#)
[法人文書公開](#)
[所在地](#)  
[リソース情報](#)
[会議室の予約状況](#)
[国立大学法人等に対する経営相談](#)
[国立大学法人等の経営改善方策の事例発表・紹介](#)  
[出版物情報](#)

■ 会議室の予約状況

学術総合センター会議室等(東京) 予約登録

2005年06月 前月 表示月選択 翌月

※お問い合わせ: 国立大学財務・経営センター 総務部 経営支援課 (会議室利用案内)  
TEL: 03-4212-6321 FAX: 03-4212-6300

受付状況凡例: 空室... 空き ★... 予約済 △... 仮予約 ×... 閉館  
時間帯 午前: 9:00~13:00 午後: 13:00~17:00 夜間: 17:00~21:00

部屋名	時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
一橋記念講堂	午前	★	★						★	★	★	★	△	★	△	★	△	△					×	★	★	×	△	△	△	△	
	午後	★	★						★	★	★	★	△	★	△	★	△	△					★	★	★	×	△	△	△	△	
	夜間	★	★						★	★	★	★	△	★	△	★	△	△					★	★	★	×	△	△	△	△	
中会議場1	午前	★	★	★					△	★	★	★													★	★	×	△	△	△	
	午後	★	★	★					△	★	★	★												★	★	×	△	△	△	△	
	夜間	★	★	★					△	★	★	★												★	★	×	△	△	△	△	
中会議場2	午前	★	★	★	★				△	★	★	★						★					△	★	★	×	△	△	△	△	
	午後	★	★	★	★				△	★	★	★						★	★				△	★	★	×	△	△	△	△	
	夜間	★	★	★					△	★	★	★						★					△	★	★	×	△	△	△	△	

# キャンパス・イノベーションセンター (CIC)

## 学術総合センター講堂・会議室

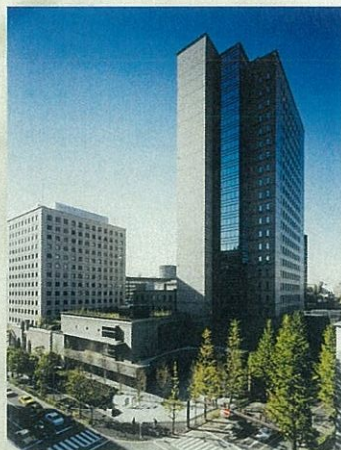
### 利用案内



CIC東京地区



CIC大阪地区



学術総合センター

独立行政法人 国立大学財務・経営センター  
<http://www.zam.go.jp>

資料 1 3

○旧特定学校財産評価額一覧

(1) 平成16年4月1日現在

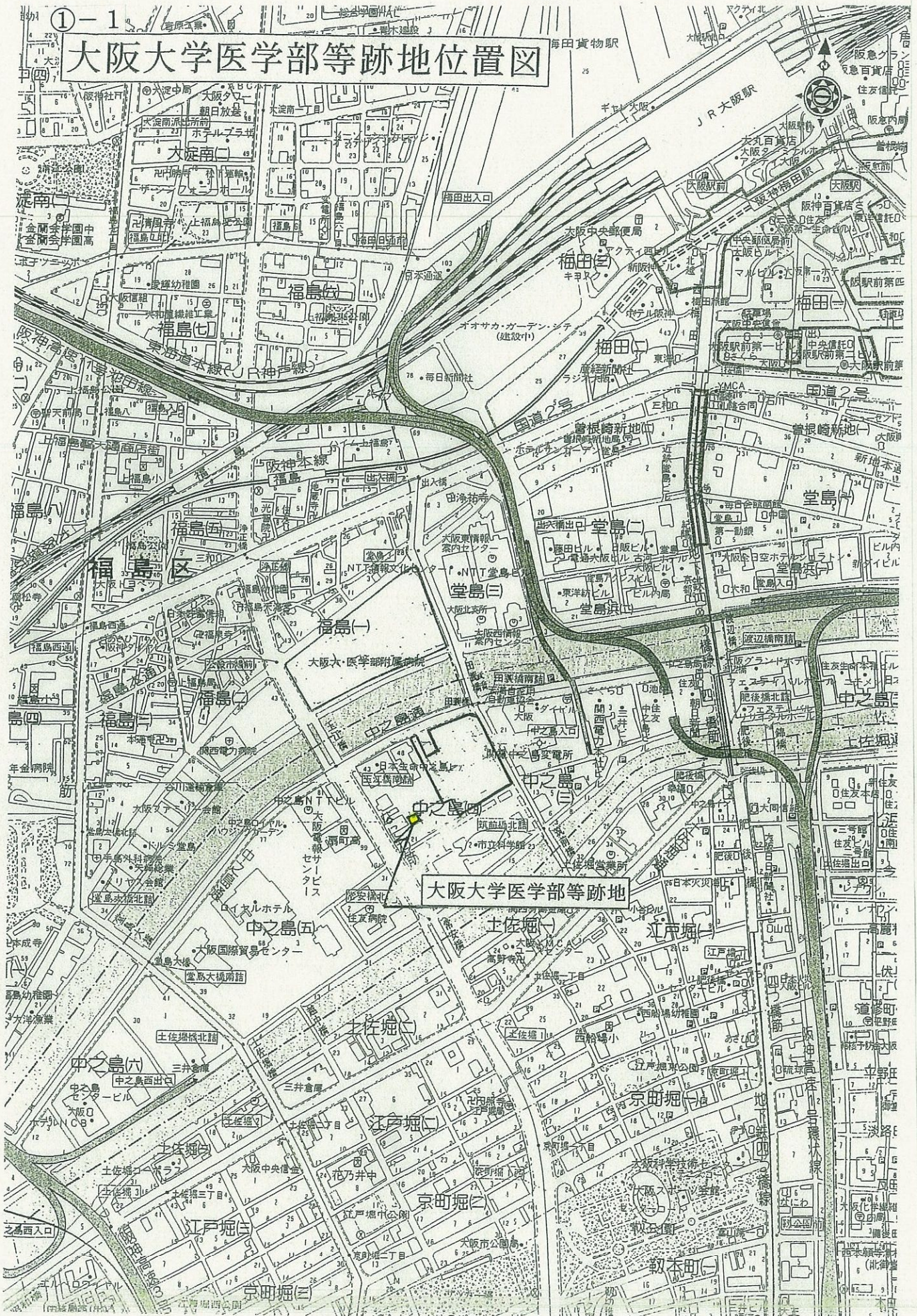
口座名	所 在	面 積 m <sup>2</sup>	評 価 額 円
①大阪大学医学部等跡地	大阪市北区中之島四丁目3番6	125.50	7,150,000
②広島大学本部地区跡地	広島市中区東千田町一丁目1番52	21,519.53	3,570,000,000
	1番53	46,814.96	6,230,000,000
	建 物		44,800,000
	立木竹		8,871,000
	計	68,334.49	9,853,671,000
③東京大学生産技術研究所跡地	港区六本木七丁目208番38他	29,987.94	19,900,000,000

(2) 平成17年3月31日現在

口座名	所 在	面 積 m <sup>2</sup>	評 価 額 円
①大阪大学医学部等跡地	大阪市北区中之島四丁目3番6	125.50	7,150,000
②広島大学本部地区跡地	広島市中区東千田町一丁目1番53	46,814.96	6,230,000,000
	建 物		44,800,000
	立木竹		7,881,000
	計		6,282,681,000
③東京大学生産技術研究所跡地	港区六本木七丁目208番38他	29,987.94	19,900,000,000

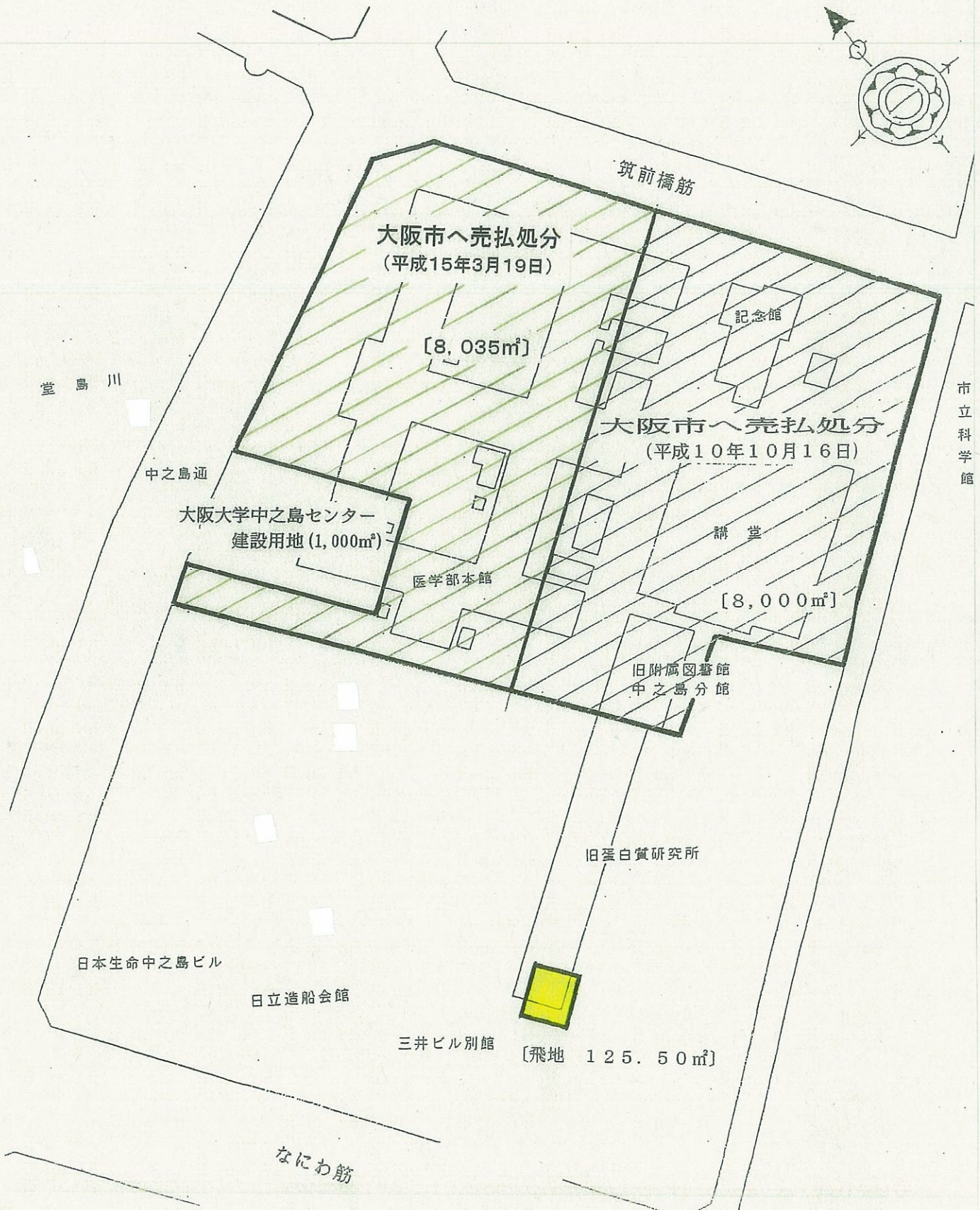
①-1

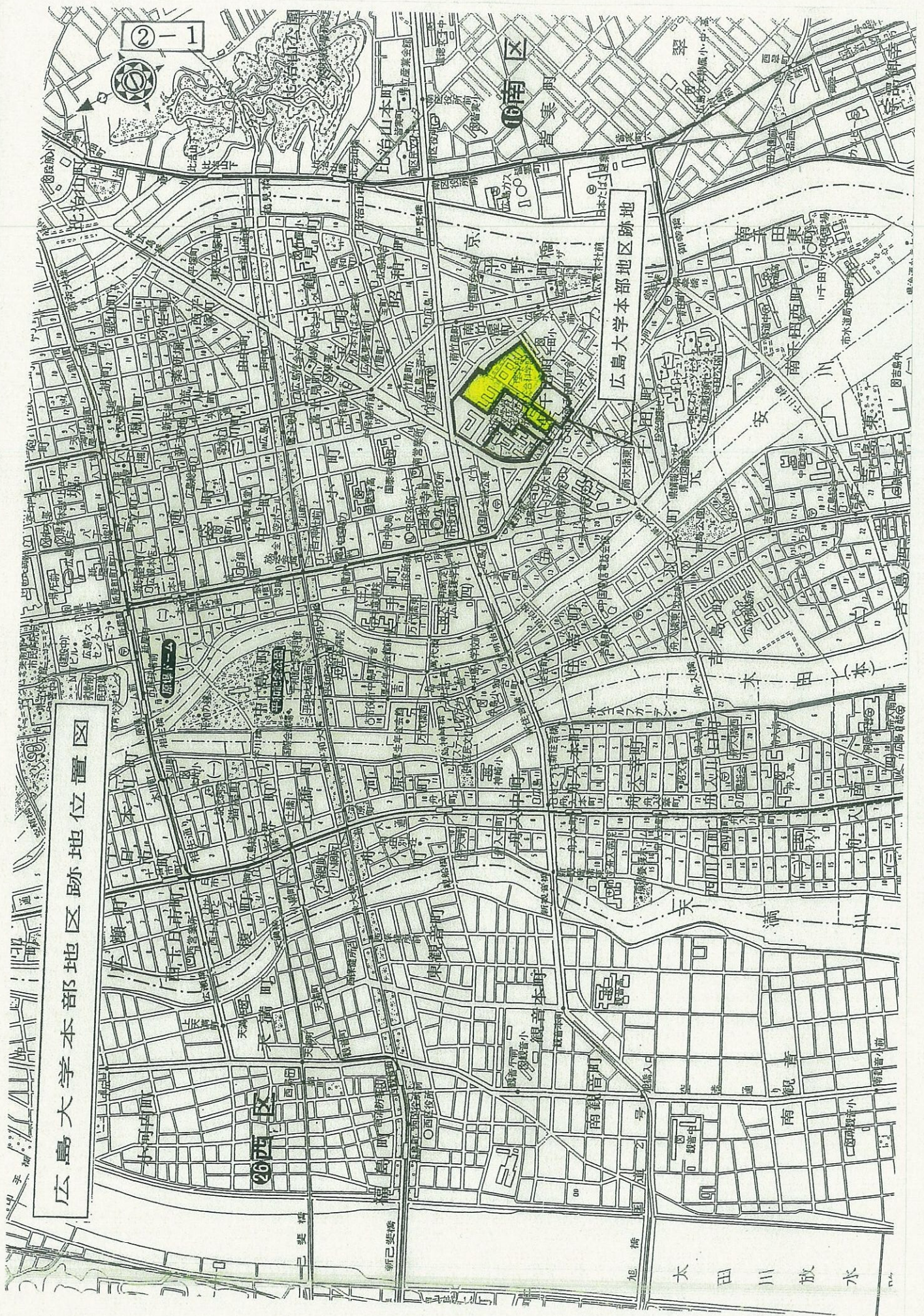
# 大阪大学医学部等跡地位置図



大阪大学医学部等跡地

①-2 大阪大学医学部等跡地配置図





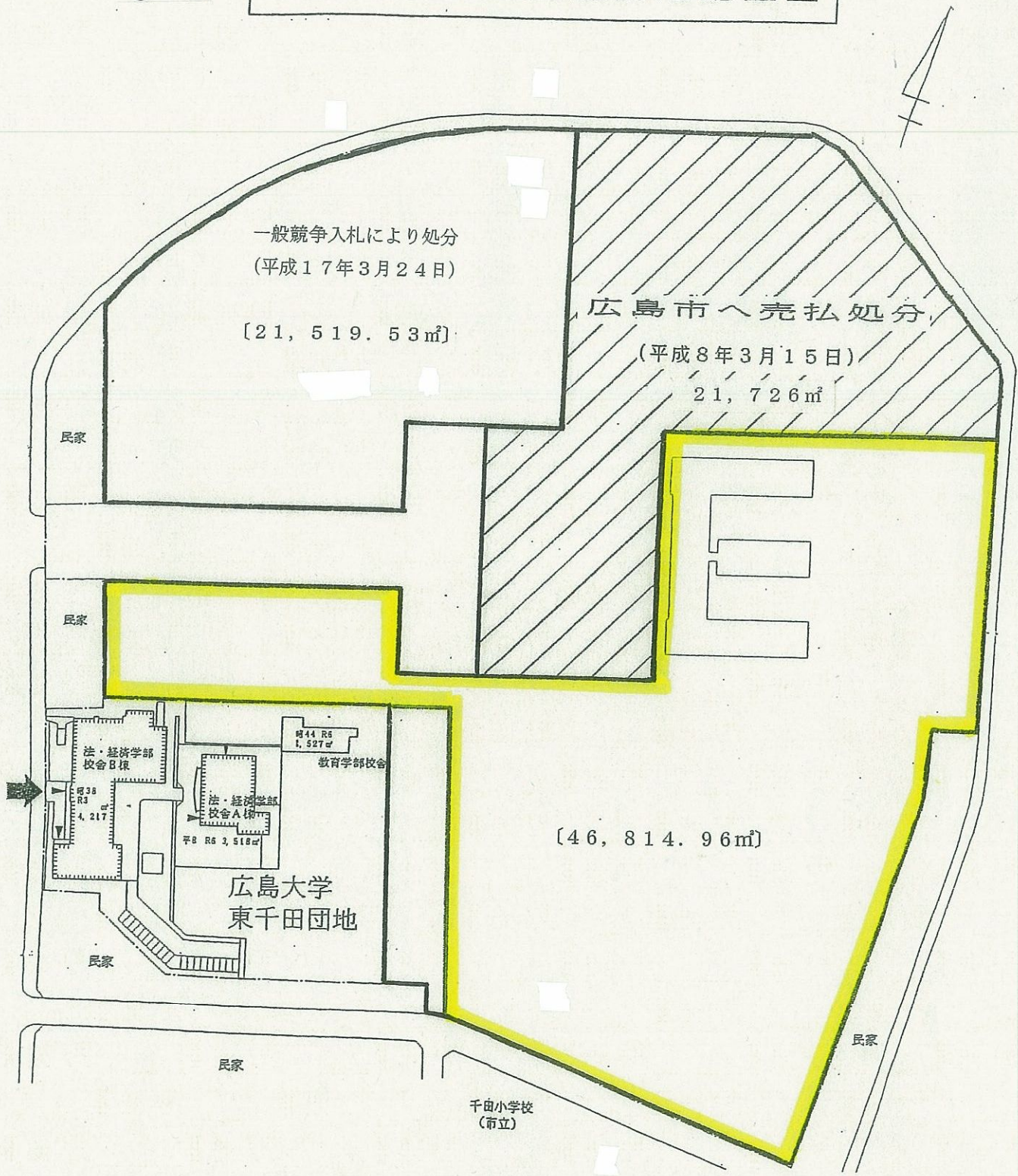
広島大学本部地区跡地位置図

広島大学本部地区跡地



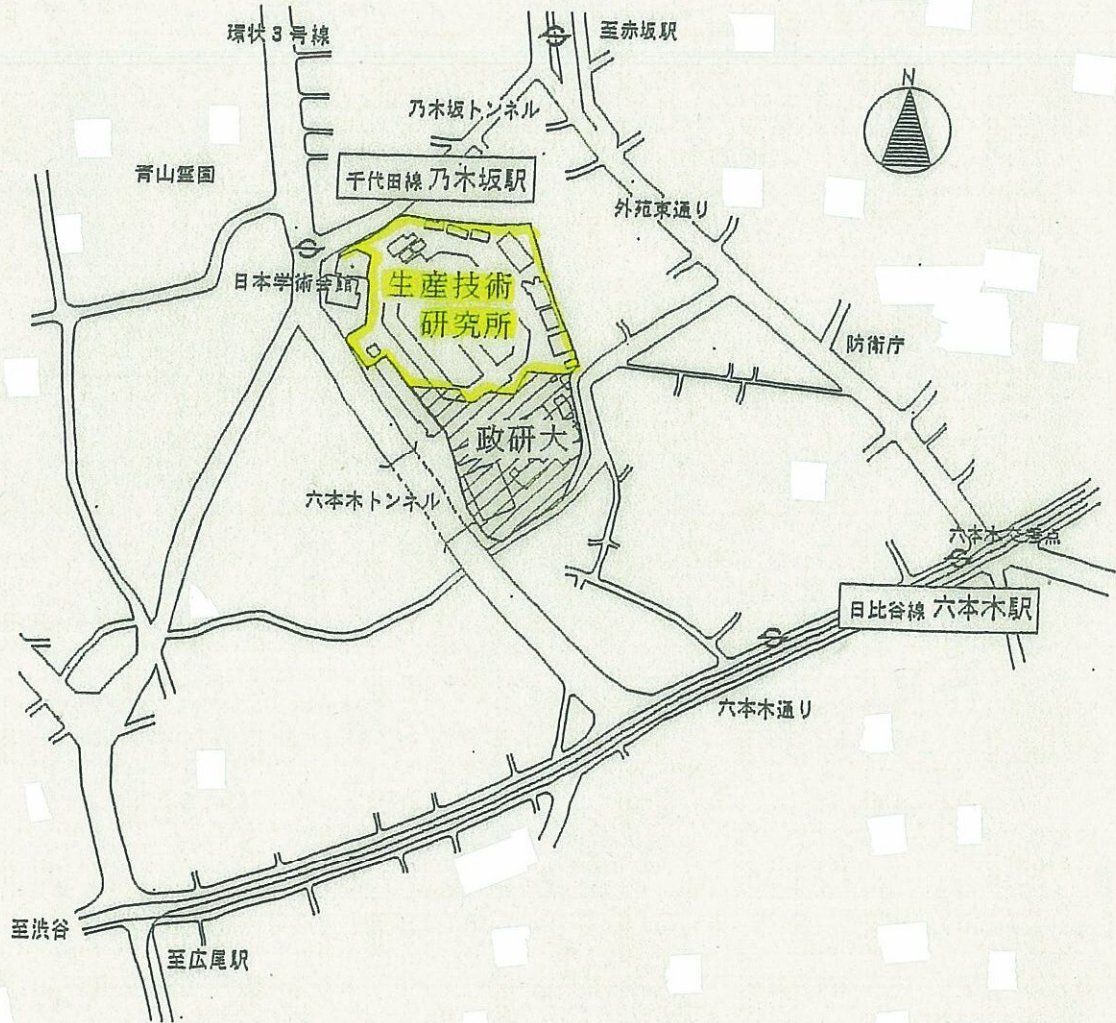
②-2

広島大学本部地区跡地配置図



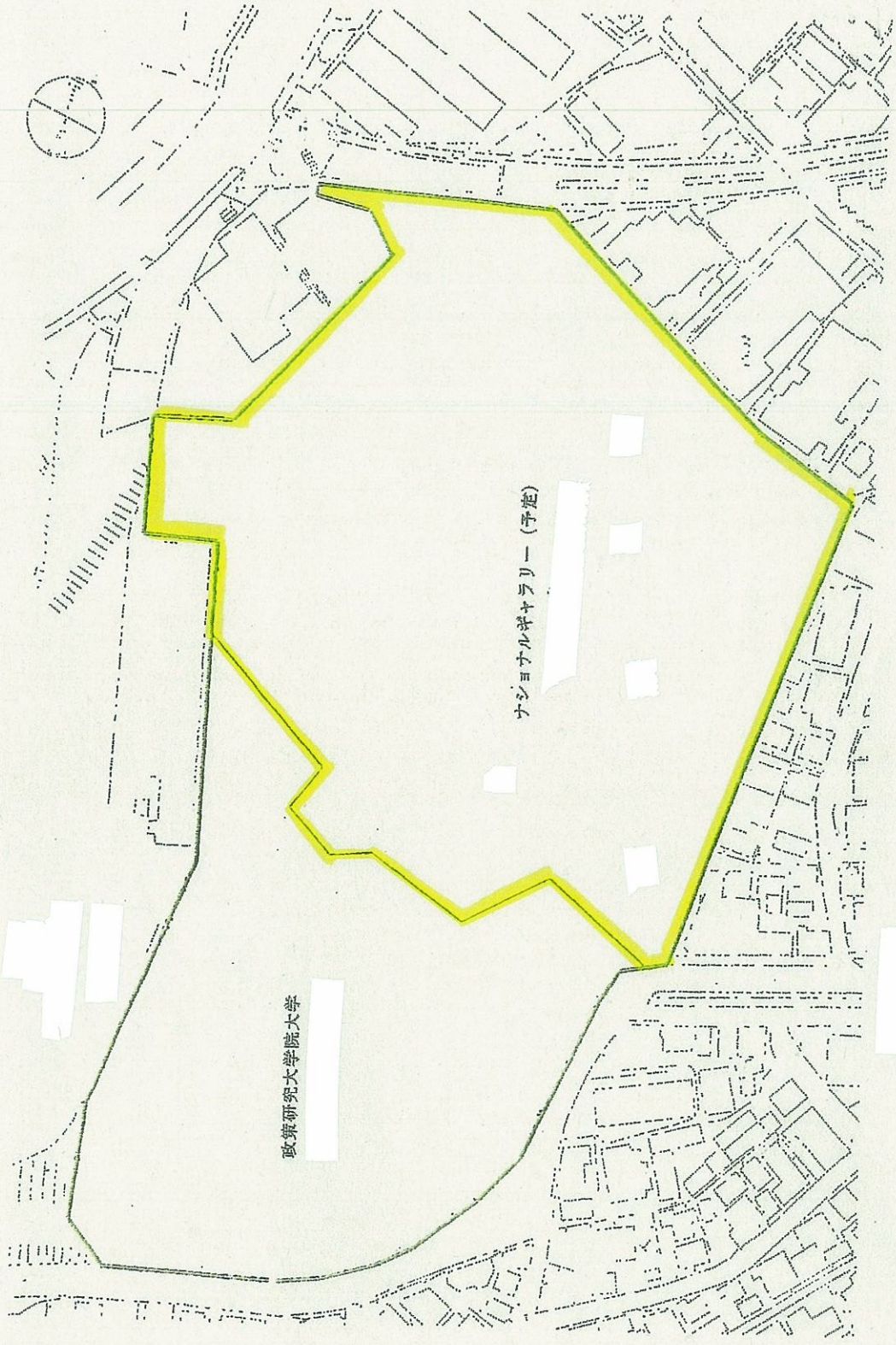
③-1

東京大学生産技術研究所跡地位置図



③-2

部局名	東 東 大 学
口 機 名	生 産 技 術 研 究 所
所 在 地	東 京 都 昭 和 大 学 7-29-1



配 置 図

縮 尺 :

## 資料14

○承継債務償還計画

単位：円

年 度	元 本	利 息	合 計
16	77,129,445,000	30,985,124,745	108,114,569,745
17	75,931,162,000	28,013,597,553	103,944,759,553
18	76,547,712,000	25,201,507,465	101,749,219,465
19	76,837,401,000	22,497,965,839	99,335,366,839
20	73,797,830,000	19,936,965,088	93,734,795,088
21	66,180,820,000	16,499,557,453	82,680,377,453
22	61,435,213,000	13,748,447,806	75,183,660,806
23	59,084,159,000	11,186,814,167	70,270,973,167
24	54,948,658,000	8,931,713,903	63,880,371,903
25	50,611,036,000	7,122,506,797	57,733,542,797
26	46,107,544,000	5,262,655,000	51,370,199,000
27	43,477,544,000	4,008,107,500	47,485,651,500
28	40,772,544,000	2,924,000,000	43,696,544,000
29	37,657,544,000	1,998,333,750	39,655,877,750
30	33,037,544,000	1,224,453,750	34,261,997,750
31	28,485,044,000	675,570,000	29,160,614,000
32	24,457,544,000	304,177,500	24,761,721,500
33	19,905,044,000	92,400,000	19,997,444,000
34	16,550,044,000	12,390,000	16,562,434,000
35	13,591,969,000	—	13,591,969,000
36	10,634,769,000	—	10,634,769,000
37	8,006,569,000	—	8,006,569,000
38	5,387,494,000	—	5,387,494,000
39	3,135,338,000	—	3,135,338,000
40	1,026,591,000	—	1,026,591,000
合 計	1,004,736,562,000	200,626,288,316	1,205,362,850,316

※平成34年度以降、貸付金利に見直しがあるため元本のみ記載